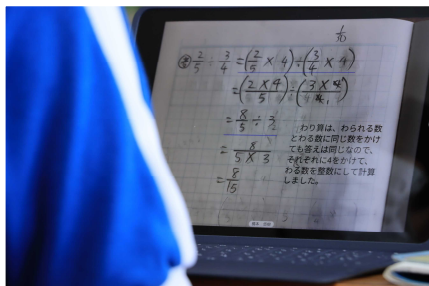


令和3年度 こおり教育要覧



1人1台端末を活用した授業始まる



献上桃の郷。
KOORI

桑折町教育委員会

目 次

桑折町の概要

桑折町の町章・花・木・鳥	1
町民憲章	1
歴史	2
位置・面積・人口	2
町長・副町長、議長・副議長	2

桑折町教育委員会

桑折町教育大綱	3
1 教育長・教育委員	4
2 組織図	5
3 予算	6
4 重点	7

学校教育

1 保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧	19
2 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革	20
3 歴代校長名簿	26
4 中学校卒業生の進路状況	27
5 児童生徒数の推移	27
6 児童生徒の体位	28
7 学校給食事業	30

生涯学習

1 生涯学習関係審議会・機関	33
2 生涯学習関係団体	34
3 生涯学習関係施設一覧	34
4 社会教育・スポーツ関係沿革	36

資料編

- 桑折町の15歳のめざす姿
- 令和3年度桑折町こども園、各学校の経営・運営ビジョン
 - ・醸芳保育所
 - ・醸芳幼稚園
 - ・醸芳小学校
 - ・睦合小学校
 - ・半田醸芳小学校
 - ・伊達崎小学校
 - ・醸芳中学校

歴史と文化の町 こおり

～桑折町の概要～

■ 桑折町の町章・花・木・鳥

町 章



昭和 40 年制定 上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表します。全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山を象徴しています。

町の花 『モモ』

桑折の春を花霞で美しく彩ります。
実は、くだものの町を代表する逸品です。

町の木 『アカマツ』『カヤ』

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

町の鳥 『カッコウ』

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。



～「こおり」という地名と桑折町の誕生～

その名前が歴史に登場したのは奈良・平安時代。東山道に駅家(うまや)が設置され、郡家がおかれたところから桑折と改められました。昭和 30 年には町村合併促進法に基づいて旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村が合併して今の“桑折町”が誕生しました。

■ 町民憲章

桑折町町民憲章

(昭和 60 年 9 月制定)

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとに開ひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。

私たちは、この町の、伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらにこの町を、活力ある町に育てて後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

- 一、 歴史と伝統を尊び、かおり高い、文化の町をつくりましょう。
- 一、 恵まれた自然を愛し、環境を整え、緑の町をつくりましょう。
- 一、 心身をきたえ、健康で、明るい町をつくりましょう。
- 一、 勤労にはげみ、活力ある、豊かな町をつくりましょう。
- 一、 きまりを守り、助け合う心を育て、住みよい町をつくりましょう。

■ 歴 史

原 始	○大字南半田の平林遺跡から、約2万5千年前の旧石器時代のものと考えられる石器群が出土している。
古 代	○6～7世紀頃の築造かと思われる塚野目古墳群の中では、大字伊達崎の錦木塚古墳が著名である。 ○平安期には郡の再編で信夫郡から伊達郡が分かれ、郡衙が置かれたことから『郡』の地名となったとされている。
中 世	○1189年(文治5年)源頼朝の藤原攻めで軍功のあった中村朝宗が伊達郡を与えられ姓を伊達とした。以来、伊達氏は大字万正寺の西山城を居城とし、17代政宗に至るまでその勢いが及んだ。
近 世	○豊臣秀吉の奥羽仕置きにより、伊達・信夫両郡は蒲生氏郷に与えられ、1598年(慶長3年)からは、上杉氏が領し、新田開発、殖産に力を注いだ。 ○佐藤新右衛門らによる西根下堰(1618年)西根上堰(1625年)の開墾や半田銀山の採鉱、養蚕業の隆盛などは、本町の歴史にとって重要である。 ○1686年(貞享3年)奥州街道・羽州街道の分岐点である桑折に桑折代官所が設置された。
近 代	○1883年(明治16年)伊達郡役所が保原から桑折に移転新築された。 ○1889年(明治22年)11村が合併して桑折町、睦合村、半田村、伊達崎村となった。 ○1955年(昭和30年)更に、1町3村が合併して桑折町が誕生した。
現 代	○2004年(平成16年)には、地方自治法及び市町村合併特例法(昭和40年法律第6号)に基づく伊達郡7町による合併協議会には加わったものの伊達市の合併には参加せず、自立の道を選択し、2015年(平成27年)1月1日に町制施行60周年を迎えた。 ○2021年(令和3年)町民に寄り添い、頼りにされる「町民のための庁舎」であるとともに、町民の安全・安心を支える「災害時に強い防災拠点となる庁舎」としての役場新庁舎が開庁。63年ぶりの庁舎移転となった。

■ 位置・面積・人口

本町は、福島県の北部、福島盆地の北に位置し、東西に7.5km・南北に8.3kmの方形の町で、北は国見町、西は福島市、南と東を伊達市にそれぞれ接しており、阿武隈川が町の東端を流れ、国道4号と東北自動車道、東北本線と東北新幹線が町を南北に縦貫しています。

また、令和2年には新たに東北中央自動車道のインターチェンジおよび東北自動車道とのジャンクションが設置され、交通の要衝として注目されています。

北緯：37度50分 東経：140度30分

総面積：42.97 km²

*住民基本台帳各年4月1日現在

明治 9 年	8,900 人	平成 22 年	13,254 人
昭和 5 年	13,306 人	平成 24 年	12,792 人
昭和 25 年	17,307 人	平成 31 年	11,841 人
昭和 45 年	14,723 人	令和 2 年	11,679 人
平成 2 年	14,692 人	令和 3 年	11,443 人
平成 12 年	13,700 人		

■ 町長・副町長、議長・副議長

町 長	高 橋 宣 博	副町長	田 中 香代子
議 長	片 平 秀 雄	副議長	原 賢 志

桑折町教育委員会

桑 折 町 教 育 大 綱

(平成29年8月21日 総合教育会議で決定)

本教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、町長が、町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものである。

本町においては、平成28年12月に新しい町の総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」を策定したところであり、今回その内容を踏まえて従来の教育大綱を次のように変更し、その計画期間も新総合計画と同様に平成29年度から平成33年度までとする。今後の5カ年において、歴史と文化の町にふさわしい質の高い教育や生涯学習の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくりをしっかりと進め、本町の子どもたちの大きな可能性の実現と、町民一人ひとりの生きがいや自己実現をめざして、この教育大綱を策定する。

1 基本方針 復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

2 基本目標 「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため、右の目標を定める。

- (1) 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現
- (2) 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
- (3) 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育・生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

3 施策の体系と重点

(1) 子育て支援
○ 子ども・子育て支援事業の推進
○ 青少年の健全育成
○ 屋内遊び場を活用した子育て支援の充実
(2) 乳幼児保育と教育
○ 乳幼児保育の充実
○ 幼稚園教育の充実
○ 幼児教育にかかる経済的支援
(3) 小中学校教育
○ 教育内容の充実
○ 教育施設の充実
○ 学校教育にかかる経済的支援
(4) 生涯学習
○ 生涯学習活動の推進
○ 芸術・文化の振興
○ 公民館施設等の充実
○ 多文化交流の促進
(5) 生涯スポーツ
○ 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進
○ 体育施設等の充実
(6) 歴史まちづくり
○ 文化財の保護と活用
○ 「歴史的風致維持向上計画」の推進

<子育て支援の重点>

- ◆ 保育所や預かり保育の“待機児童ゼロ”を今後とも継続していくため、受け入れ体制を一層充実させるとともに、子育て世代への情報提供や相談体制整備を進め、保護者が安心して子育てできる環境の整備に努める。
- ◆ 保育所や統合幼稚園において、質の高い保育・教育の実施と、施設・設備の充実に努める。
- ◆ 幼稚園給食費無料化・多子世帯授業料軽減・制服支給など、幼児教育等にかかる経済的支援を引き続き推進する。

<学校教育の重点>

- ◆ 確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育て、児童生徒に「生きる力」を身に付けさせていくため、生活習慣改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育に重点的に取り組む。
- ◆ 学力向上に向け、教員の指導力向上のための研修、生活習慣改善のための特別授業、読み・書き・計算の徹底反復、桑折学習塾などの施策を推進する。
- ◆ 小・中学校の施設・設備の充実に努める。
- ◆ 新学習指導要領への移行に伴い、道徳教育・英語教育・ふるさと教育の充実を図り、指導体制を整備する。
- ◆ 奨学資金貸与・就学援助・制服支給など、学校教育にかかる経済的支援を引き続き推進する。

<生涯学習の重点>

- ◆ 青少年健全育成活動の推進強化を図るとともに、「イコーゼ!」活用による子育て・スポーツ事業の展開に努める。
- ◆ 「地域人材バンク」の整備や地区公民館活動の活性化により、生涯学習活動の一層の推進を図る。
- ◆ 町民の芸術・文化活動の奨励・支援や、芸術・文化事業の拡充に努める。
- ◆ 社会教育・社会体育関係の施設・設備の充実に努める。
- ◆ 姉妹都市交流などの多文化交流の促進に努める。

<文化財保護・活用の重点>

- ◆ 有形・無形の歴史的遺産の調査と文化財指定の推進、及び保護・活用の促進に努める。
- ◆ 史跡桑折西山城跡整備事業を推進する。
- ◆ 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史資源を活かしたまちづくりを推進する。

1 教育長・教育委員



教 育 長
会 田 智 康
(R3.4.1～R6.3.31 ③期目)



教育委員(教育長職務代理者)
柴 田 宣 広
(H30.10.1～R4.9.30 ③期目)



教育委員
鈴 木 キヨ子
(H29.10.1～R3.9.30 ②期目)



教育委員
小 野 紀 章
(R2.10.1～R6.9.30 ②期目)



教育委員
長 谷 富 子
(R1.10.1～R5.9.30 ①期目)

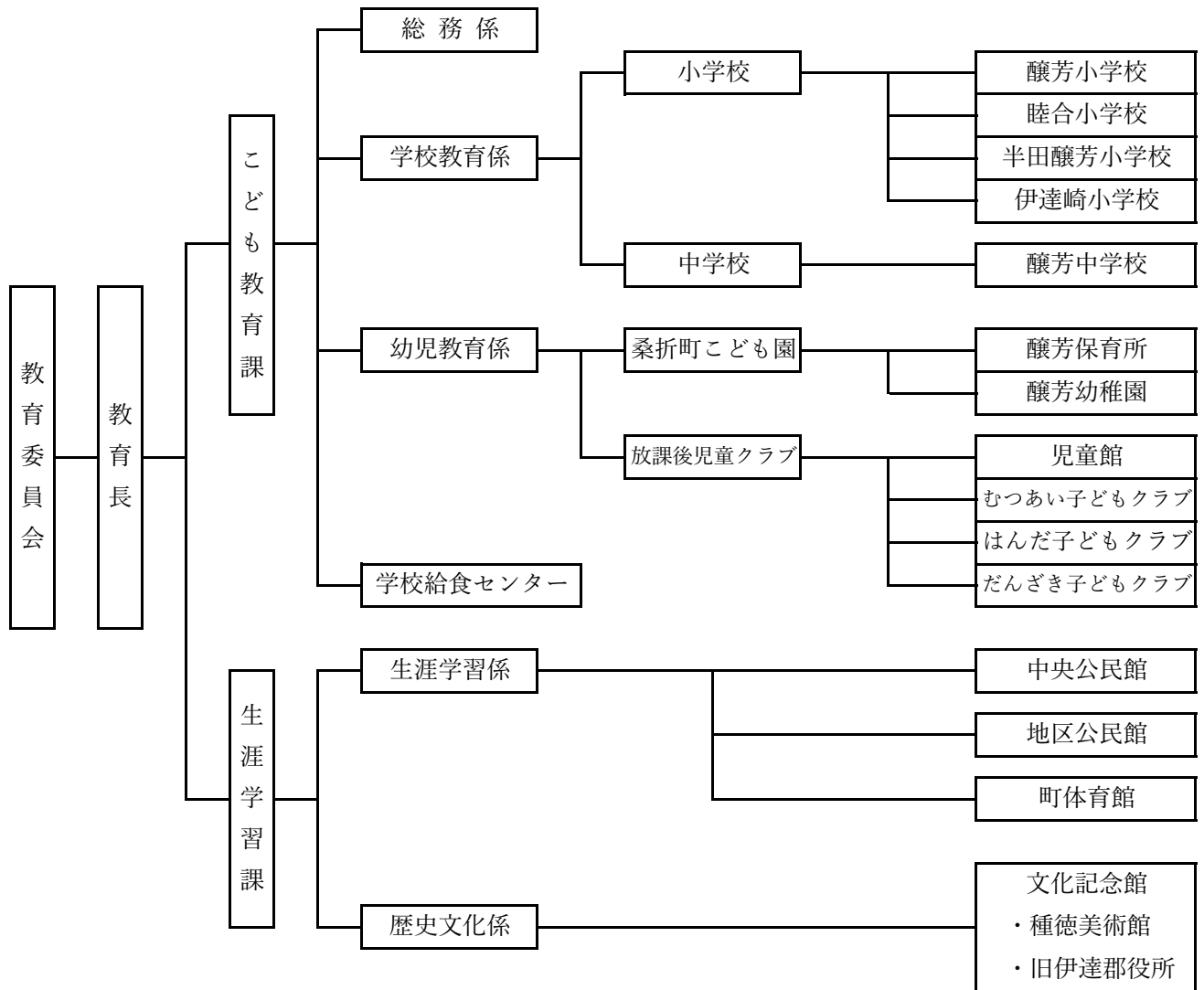
■歴代教育長

①熊坂惣兵衛 S30.4～	②遠藤 勉 S39.10～	③遠藤伊雄 S52.5～	④大友 寛 S60.10～	⑤村岡房之助 H1.10～
⑥岩谷敬恒 H8.10～	⑦荒海健二 H14.1～	⑧室井君男 H21.4～	⑨安藤重男 H23.1～	

■歴代教育委員

氏 名	在任期間	氏 名	在任期間	氏 名	在任期間
熊坂惣兵衛	S30.7～57.9	八 巻 敏 榮	S51.10～59.9	半 澤 敏 子	H7.10～19.9
大 越 宇 市	S31.10～41.9	遠 藤 伊 雄	S52.5～60.9	岩 谷 敬 恒	H8.10～14.9
奥 山 覺 三	S31.10～34.9	高 原 ア イ	S53.10～59.9	佐 藤 好 久	H14.2～20.9
朽 木 吉 明	S31.10～51.9	柴 田 宣 教	S57.10～H6.9	荒 海 健 二	H14.11～21.3
佐 藤 俊 夫	S31.10～41.9	鈴 木 三 元	S58.10～H7.9	佐 藤 善 利	H18.10～22.9
鈴 木 タ ネ	S35.10～50.9	半澤金兵衛	S59.10～H4.9	大 波 敏 子	H18.10～R1.9
遠 藤 勉	S39.10～52.4	石幡セツ子	S59.10～H4.9	安 藤 重 男	H19.10～27.3
古山千代壽	S41.10～45.9	大 友 寛	S60.10～H1.9	安 齋 恵 子	H20.10～28.9
氏家武兵衛	S41.10～50.9	村岡房之助	H1.10～8.9	室 井 君 男	H21.4～22.12
八木沼惣兵衛	S45.10～57.9	大 内 一 夫	H4.10～18.9	羽根田忠一	H23.1～27.9
角 田 道 子	S50.10～53.1	栗 野 章	H4.10～13.12		
佐々木才吉	S50.10～58.9	八木沼惣一	H6.10～18.9		

2 組織図



職 名			氏 名	職 名			氏 名
こども教育課	こども教育課長		長谷部 清治	生涯学習課	生涯学習課長		大内 健矢
	副参事兼学校給食センター所長		横山 雄二		生涯学習	生涯学習係長	安藤 恭子
	総務	総務係長	服部 亜由美			中央公民館長	伊藤 好幸
		会計年度任用職員	吉本 鏡子			主査	鈴木 真英
	学校教育	学校教育係長	八木 沼久美			主事	和田 真結子
		指導主事	中村 利幸			主事	谷津 朋征
		指導主事	穴戸 広子			公民館運営推進員	内村 勝男
		主任主査	小山 大樹			公民館運営推進員	旗野 宣久
		主任主査	佐藤 智恵子			会計年度任用職員	吉田 伸介
		英語指導助手	パルデズ・レックス・アルマント		歴史文化	歴史文化係長	井沼 千秋
	幼児教育	幼児教育係長	刀根 奈美			主事	本田 卓也
		主任主査	遠江 大輔				
		主事（再任用）	片平 真由美				

3 予 算

■教育予算

(単位：千円)

項	目	金 額	説 明
1 教育総務費 187,411	教育委員会費 事務局費 子育て支援事業費	1,284 173,240 12,887	教育委員会運営費 職員人件費 事務局管理費 就学事務費 英語指導助手受入事業費 学力向上対策事業費 スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業委託費 子育て支援事業費
2 小学校費 66,959	学校管理費 教育振興費	53,083 13,876	小学校管理総務費 小学校管理費 小学校運営総務費 小学校運営費
3 中学校費 24,352	学校管理費 教育振興費	20,810 3,542	中学校管理総務費 中学校管理費 中学校運営費
4 幼稚園費 181,427	幼稚園費	181,427	職員人件費 幼稚園管理運営費
5 社会教育費 124,567	社会教育総務費 公民館費 文化財保護費	64,959 39,792 19,816	職員人件費 社会教育総務管理費 生涯学習振興費 公民館総務費 公民館活動振興費 公民館施設維持管理費 芸術・文化活動振興費 文化財保護総務費 文化財調査費 文化財保護管理費
6 保健体育費 210,657	保健体育総務費 体育施設費 給食施設費	406 77,814 132,437	保健体育総務管理費 体育活動振興費 体育施設維持管理費 給食センター総務費 給食センター施設運営費

■福祉予算

(単位：千円)

項	目	金 額	説 明
2 児童福祉費 (375,560) 220,080	児童福祉施設費	169,795	職員人件費 保育所管理運営費
	児童福祉費	50,285	児童館管理運営費 放課後児童健全育成事業費

4 重 点

I 基本方針

復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創生プラン』に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち 桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

II 基本目標

「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため、次の目標を定める。

- 1 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現
- 2 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
- 3 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育・生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

III 重点施策

1 子育て支援

- 子ども・子育て支援事業の推進 [こども教育課]
- 青少年の健全育成、屋内遊び場を活用した子育て支援の充実 [生涯学習課]

2 乳幼児保育と教育

- 乳幼児保育の充実、幼稚園教育の充実、幼児教育にかかる経済的支援 [こども教育課]

3 小中学校教育

- 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援 [こども教育課]

4 生涯学習

- 生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、他文化交流の促進 [生涯学習課]

5 生涯スポーツ

- 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実 [生涯学習課]

6 歴史まちづくり

- 文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画」の推進 [生涯学習課]

乳 幼 児 保 育 ・ 教 育 の 重 点

- 保育・教育内容の充実及び安全・安心な教育環境の整備を図り、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進し、心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成する。
- 「桑折町の15歳のめざす姿」の実現をめざし、保育所、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切した教育を推進する。
- 子どもの健やかな成長と保護者が安心して子育てできる支援事業の推進及び環境整備に努める。

1 乳幼児保育・教育の充実

(1) 乳幼児が安全安心に保育・教育を受けるための環境の整備と安全指導の充実を努める。

- ① 発達に即した環境の整備と施設・設備の点検を実施する。
 - ☐ 日常的な施設・設備の安全点検実施
- ② 防災体制の確立及び日常生活における安全指導の徹底を図る。
 - ☐ 実効性ある避難訓練等の実施
 - ☐ 通園指導による交通安全啓発活動の実施
- ③ 食品等のモニタリングによる安全安心な給食を提供する。
 - ☐ 食品のモニタリングと結果の公表

(2) 心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成するため、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進する。

- ① 保育所保育計画、幼稚園教育計画により保育・教育の充実を図る。
 - ☐ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目指した計画的・系統的な指導の充実。
 - ☐ 環境を通しての遊びを中心とした総合的に行う保育・教育活動の実施
- ② 心の安定と自己肯定感を育む集団づくりに努める。
 - ☐ 幼児の言動を肯定的に受け止める保育・教育の実施
 - ☐ 自己表出できる友達関係の育成
- ③ 運動遊びを中心とした体を動かす活動の充実を図る。
 - ☐ 体力向上1園(学級)1実践の取組
 - ☐ 発達年齢に応じた体を動かす遊びの充実
 - ☐ 外部講師による運動遊び、ダンス教室の実施
- ④ 読書活動の推進を図る。
 - ☐ 絵本コーナーの充実と活用
 - ☐ 絵本の積極的貸し出し
 - ☐ 家庭での読み聞かせの奨励

⑤ 文化や芸術など様々なものに触れ経験する中で豊かな心を育む。

- ☐ 異文化体験活動の推進
- ☐ 芸術鑑賞機会の充実
- ☐ 音楽に親しむ活動の推進
- ☐ 飼育、栽培活動の充実

⑥ 英語に親しむ活動の充実を図る。

- ☐ 外部講師による英語で遊ぼうの実施

⑦ 総合的な指導力、保育力の向上に努める。

- ☐ 一人1回以上の園内保育研究会の実施
- ☐ 外部講師を招聘しての研修会の実施
- ☐ 先進園への視察研修
- ☐ 小学校と連携した保育研究会の実施
- ☐ 経営自己評価や指導の自己評価、保護者からの園(所)評価の実施
- ☐ 学校評議員会の開催

(3) 特別な支援を必要とする乳幼児の支援体制の確立と指導力の向上に努める。

① 特別な支援を必要とする乳幼児への支援体制を確立する。

- ☐ 保育補助・支援員の配置
- ☐ 園内委員会の定期的な開催
- ☐ 関係機関との連携強化
- ☐ 特別支援教育についての保護者の理解促進
- ☐ ことばの治療が必要な幼児への指導体制の充実

② 特別な支援を必要とする乳幼児への支援内容の充実を図る。

- ☐ 特別支援教育に関する研修機会の確保
- ☐ 個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用

(4) 異校種の教育内容や指導の在り方について共通理解を図り、円滑な接続を意図した保育・教育を推進する。

① こども園内の連携・交流を推進する。

- ☐ こども園保育研究会の実施
- ☐ 所児と園児の交流活動の実施

② 小・中学校との連携・交流を推進する。

- ☐ 小・中学校の授業研究会への参加
- ☐ 園児と小学生の交流活動の実施
- ☐ 職場体験活動等の受け入れ

(5) 家庭や地域社会との連携を図る。

① 望ましい生活習慣の確立に向けた取り組みを推進する。

- ☐ 家庭教育学級の実施
- ☐ 「家庭生活習慣のポイント」の広報・活用

- ② 虫歯予防の取り組みを推進する。
 - ☐ フッ化物洗口の実施
 - ☐ 歯科衛生士による歯磨き指導の実施
- ③ 地域の教育力を生かした保育・教育を推進する。
 - ☐ 保護者の園行事等への参加
 - ☐ 地域資源の積極的な活用

(6) 新型コロナウイルス感染症等の対策を徹底する。

- ① 家庭と連携した感染症対策の実施
 - ☐ 登降園時の検温・健康状態確認ときめ細やかな保護者対応
 - ☐ 新しい生活様式の実践と習慣化
 - ☐ 消毒、清掃の実施及び良好な環境衛生の保持
- ② 園児への指導
 - ☐ 感染症について正しく理解するための発達段階に応じた指導

2 子ども・子育て支援事業の推進

(1) 多様な子育て家庭に対応した事業の推進に努める。

- ① 家庭の教育力向上を図る。
 - ☐ 『頭のよい子に育てるために今すぐ絶対やるべきこと』（川島隆太 博士著）を活用した家庭の教育力向上
- ② 保護者の就労等に対応した保育所運営、預かり保育・放課後児童健全育成事業の充実を図る。
 - ☐ 待機児童ゼロの継続
 - ☐ 預かり・放課後児童保育支援員研修会及び児童館長による巡回指導の実施
 - ☐ 幼稚園や小学校、保護者との情報の共有化
 - ☐ 預かり・放課後児童保育の長期休業中等を中心とした体験活動の充実
 - ☐ 預かり・放課後児童保育の特別な支援を必要とする園児・児童に対する保育の充実
 - ☐ 保育所及び支援員の確保と保育の質の維持向上
 - ☐ コロナウイルス感染症対策で施設内やおもちゃ等の消毒、マスク着用やうがい手洗いの呼びかけ等の徹底。
- ③ 子育て世代に対応した経済的支援の推進に努める。
 - ☐ 入園児への入園祝い品（制服）支給事業の実施
 - ☐ 給食費保育者負担の軽減
 - ☐ 在園・在所児の病児・病後児保育利用料助成事業の実施

学 校 教 育 の 重 点

- コロナ禍以後の状況を踏まえながら、幼稚園、小・中学校の相互連携を強めて子どもたちを育成する。
- 教員の指導力の向上と教育内容の充実を図り、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和的・一体的・関連的な育成を基盤として、児童生徒の「生きる力」をはぐくむ。
- 「桑折町の15歳のめざす姿」の実現をめざし、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切にした教育を推進する。特に、生活習慣の改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育の充実の5点に重点的に取り組む。

1 学力向上を図る取組

(1) 生活の基盤づくり

- ① 脳科学の研究成果を活用して、生活習慣の改善・学習習慣の確立を図る。
 - 「読書がたくましい脳をつくる」(川島隆太 著)を活用した特別授業の実施
 - 川島隆太先生による講演会(青少年育成町民会議主催)
- ② 生活改善・充実のための働きかけに努める。
 - 「家庭学習スタンダード」や各校の手引きに沿った家庭での学習の充実
 - 桑折町「家庭生活習慣のポイント」に基づく家庭生活習慣の改善

(2) 学習の基盤づくり

- ① 「読み・書き・計算の徹底反復」による、集中力や基礎的知識・技能の向上を図る。
 - 「読み・書き・計算の徹底反復」の効果的な取組及び研修会の充実
- ② 学びの質を高める学習集団を育成する。
 - 「桑折町小学校・学びのスタンダード」(下敷き)を基本とした学習態度訓練の徹底
- ③ 「家読(うちどく)」を中心とした読書活動の充実を図る。
 - 保護者との連携・協力による「家読」の奨励(家読運動とりくみコンクール等)
 - 学校司書の活用による学校図書・読書に関わる環境の充実(各小学校への巡回)
- ④ 児童生徒の学習を支援する「桑折学習塾」(土曜実施)の充実を図る。
 - 小学生対象…算数(算数ジュニアオリンピックへの支援を含む)・国語(年 計8回)
 - 中学生対象…数学・英語(年 計16回)

(3) 授業の改善・充実

- ① ふくしまの「授業スタンダード」に基づく授業改善を徹底する。
 - 1校1指定公開等の授業研究の充実
(内、一校は秋田大学院阿部昇教授の指導により授業研究会を実施する)

- ② 学力の実態把握と分析、対策の立案と実践に努める。
 - ☐ Hyper-QU の「NRT の学力とのクロス集計」結果を活用した学習集団の形成
 - ☐ 国（全国学力・学習状況調査 5 月 27 日実施）・県の学力検査（4 月 21 日実施）の分析と授業改善のための活用
- ③ 幼稚園、小学校と中学校との連携による授業研究の充実を図る。
 - ☐ 指導の連続性、専門性を深める幼稚園、小・中学校の連携による事前・事後授業研究会の充実（相互交流活動、合同授業研究会等）
- ④ 教員の専門性を高める教職員研修の充実を図る。
 - ☐ 秋田の探究型授業等に学ぶための県外視察とその研修の共有化・共通実践
- ⑤ 新学習指導要領に基づく教育内容の実践と充実
 - ☐ 教員の専門性や実践的指導力の向上を図る授業研究会の充実
- ⑥ 指導体制を整備し、外国語（英語）教育の充実を図る。
 - ☐ 外国語指導助手(ALT)、英語指導協力員等と綿密な連携のもと、外国語科・外国語活動の TT 授業の充実
 - ☐ 外国語教育推進リーダーが実施する授業の参観・研修
 - ☐ 英語検定受験の奨励と補助
- ⑦ 情報活用能力の育成
 - ☐ ICT 環境整備後の授業中、家庭での活用推進（先進地視察・研修会への参加等）
 - ☐ 一人一台端末を活用したオンライン学習の有効活用

2 体力向上を図る取組

- （1）生涯にわたり健康を支える体力づくり、学校体育の充実
 - ① 桑折町「子どもの体力向上プラン」に沿った体力づくりに努める。
 - ☐ 運動身体づくりプログラムの継続的な実践
 - ☐ 「新体力テスト」結果を受けて、運動能力向上と肥満児出現率減少に向けた取組
 - ② 体力向上に向けた「1 校（学級）1 実践」に取り組む。
 - ☐ 業間運動や昼休み等の時間の活用（長距離走の奨励）、部活動の奨励
 - ③ 桑折町小学生陸上競技大会（生涯学習課主催）への積極的な参加を奨励する。
- （2）健康に関する理解を深め、基本的生活習慣の確立をめざす取組
 - ① 家庭と連携して健康管理と基本的生活習慣の定着を図る。
 - ☐ 「早寝・早起き・朝ご飯」の推進や自力登校等の日常的な生活運動の呼びかけ
 - ☐ 日々の健康観察や健康診断等の結果による治療勧告や治療の奨励
 - ② 自己の健康状態を把握し、自ら課題を解決していく学習を推進する。
 - ☐ 各種生活調査結果を活用した「保健便り」による家庭との連携
 - ☐ 肥満など健康課題に応じた体育授業・保健指導の充実
- （3）安全・安心な学校給食を活用した「食育」の推進
 - ① 食材及び食品のモニタリング公表や健康維持増進のための情報を提供する。

- ☐ 町ホームページや「献立表」「給食だより」等での食育に関する情報の提供
- ② 栄養士と連携した「食育」の授業を推進する。
 - ☐ 各校における「食育授業」の計画的・継続的な実施
 - ☐ 家庭に対する朝食の質（食事内容）の改善への呼びかけ

3 心の教育の充実

（1）積極的な生徒指導の推進

- ① 学校の教育活動全体に生徒指導の機能を生かし、不登校やいじめのない明るく生き生きとした学校生活を実現する。
 - ア 自己指導力を育み、自己肯定感を醸成する生徒指導体制を確立する。
 - ☐ Hyper-QU 検査の実施とその結果の活用（「認め・誉める」指導を中心として）
 - イ 幼稚園を含め、小中学校のきめ細かな情報連携・行動連携を一層推進する。
 - ☐ 桑折町生徒指導委員会と各校の生徒指導部会・教育相談係との連携
 - ウ 児童生徒理解を基盤とした不登校の未然防止と迅速な対応を図る。
 - ☐ 不登校対策会議の開催（年1回）と情報の共有、組織的な対応の充実
 - ☐ 桑折町教育支援センターの円滑な運営、学校との連携
 - エ いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策を推進する。
 - ☐ 「いじめ問題対策連絡協議会」を核とした諸取組の充実(チェックリスト等の活用)
- ② 教育相談体制を確立し、開発的な教育相談を充実させる。
 - ☐ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの積極的な活用
- ③ 情報モラル教育を充実させ、有害情報へのアクセス等による犯罪の実態と被害防止の指導を家庭と連携して行う。
 - ☐ SNS モラル授業の実施や PTA と連携した研修会、啓発活動の企画への支援

（2）自律的な生き方を追究する「道徳教育」の充実

- ① 道徳的価値を自分の事として捉え、多角的に考えたり議論したりする道徳授業の改善
 - ア 道徳の時間における多様な展開を工夫する。
 - ☐ 特別の教科「道徳」のアクティブな授業づくり
 - イ 意図的・計画的に道徳的实践力を高める場を設定する。
 - ☐ 毎時の道徳授業で行うポートフォリオ（道徳ノート等）に基づく認め・励ます評価
- ② 桑折町の15歳のめざす姿の「段階的スタンダード（徳・生活編）」に基づく日常生活の充実に向けた支援を工夫する。
 - ☐ 各校の PTA 集会等での広報活動の充実
 - ☐ あいさつ運動や規範意識向上に向けた取組

（3）心を揺さぶる学習、体験活動・キャリア教育の充実

- ① 命の尊さ、社会性や規範意識、勤労意識などの「豊かな心」を育む体験活動、ボランティア活動などを充実させる。
 - ☐ 農業体験、職業人に聞く、職場体験などの系統だったキャリア教育の充実

- ☐ 「キャリア・パスポート」の累積と活用
- ② 郷土愛をはぐくむふるさと学習を充実させる。
 - ア ふるさと教育を推進し、郷土に愛着をもつ機会の拡充に努める。
 - ☐ ふるさとの自然、文化や歴史等について「見る、知る、学ぶ」学習機会の拡充
 - ☐ 全小学校での西山城見学と講演会の実施
 - イ 各教科、総合的な学習の時間や道徳、特別活動、食育、土曜学習等における地域人材の活用や地域素材の教材化を図る。
 - ☐ 地域素材や地域人材バンクの効果的な活用
- ③ 「非核平和のまち」として平和学習を推進する。
 - ☐ 被爆地（広島）への代表児童派遣と各校における平和学習の充実

4 その他の取組

（１）特別支援教育の充実

- ① 就学指導の改善に努め、特別な支援を必要とする児童生徒の支援体制の整備・充実
 - ア 特別支援学級や通級指導教室（巡回型）の教育活動の充実に努める。
 - ☐ 校内における支援を必要とする児童生徒の情報共有（個別の支援計画や指導計画の作成等）と幼小中連携のものの支援体制の確立
 - イ 教育的ニーズに応える支援体制の整備と研修会を企画し、指導力の向上を図る。
 - ☐ 校内就学指導委員会の活性化と適正な就学指導、教育相談の充実
 - ☐ 特別支援教育支援員の適正な配置と専門性を高める研修会の充実（年３回）
 - ウ 適正な就学に向けた情報の把握
 - ☐ 一人一人に適切な指導を行うための情報収集（検査）と家庭との共有
 - ☐ 就学指導審議会へ向けた判断のための資料作成

（２）教育環境の充実

- ① 教育施設の充実に努める。
 - ☐ 学校教育施設・設備の維持管理と今後の点検・整備のあり方についての検討
 - ☐ 廃止した学校プールの取扱いの検討
- ② 学校運営の改善と指導体制の充実
 - ☐ 「読み聞かせ」等の学習支援ボランティアの活用
 - ☐ 地域と連携した指導体制の組織化と拡充
 - ☐ 人材育成と活用
- ③ 統合型校務支援システムの活用
 - ☐ 校務支援システムの理解と活用の定着

（３）各種教育課題への対応

- ① 東日本大震災の体験等に基づいた安全教育、防災教育・放射線教育の充実に努める。
 - ア 身の回りの危険を予測し、自ら回避する能力や態度を育成する。
 - ☐ 危険箇所の確認や速やかな情報提供

イ 系統的な安全学習と組織的な安全指導に努める。

□ 防災マニュアルの見直しを含む学校環境の適切な安全管理と関係機関との連携

ウ 学級活動や総合的学習の時間等で、「身の安全・健康」を学習する機会を設定する。

□ リスクに対して安全・健康な生活を送るための放射線教育や防災教育の充実

② 低炭素・循環型社会に対応した環境教育を推進する。

□ ふくしま議定書の奨励や3R(Reduce, Reuse, Recycle)や再生エネルギーの学習

③ 健康教育の一環として感染症対策の継続実施を図る。

(4) 子育て世帯への学校教育にかかる経済的支援の充実

① 子育て世帯に対応した経済的支援事業の推進に努める。

□ 奨学資金制度の利用促進と充実の検討

□ 児童生徒への就学援助支給による経済的負担の軽減

□ 入学児童生徒への入学祝い品（制服や本贈呈<川島博士著>）支援事業の実施

□ 給食費の半額補助

生涯学習の重点

- 町民が生涯にわたって学習できる機会の創出や情報の提供に努める。
- 町民の心身の健康づくり及び体力づくりにつながる学習機会の創出に努める。

I 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

1 生涯学習の推進

(1) 生涯学習推進体制の充実を図る。

- ☐ 「生涯学習推進基本計画」(第2次)に基づく推進体制の確立

(2) いつでも、どこでもだれでもが学び合える生涯学習社会の実現のため、情報の提供と町民ニーズに対応する事業を行う。

- ☐ ICT 講習会、女性や子育て世代対象の講座等の開催、持ち込み講座の開催支援

2 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供と内容の充実

(1) 中央公民館を拠点として、知識や技能を適切に提供することができるようライフステージに応じた内容の充実を図り、継続した活動の展開に努める。

- ☐ 年間を通じた青少年教育、成人教育、高齢者教育の展開
- ☐ 親子教室等の事業開催支援

3 青少年育成と社会教育団体の活動奨励

(1) 家庭、学校、地域及び社会教育に関する団体等との連携を図るとともに、地域の教育力を活用し青少年の育成を推進する。

- ☐ 桑折町青少年育成町民会議事業の実施
- ☐ 地域学校協働活動事業の充実
- ☐ 社会教育団体への活動支援

4 心を豊かにする読書活動の充実

(1) 遊学館「よも～よ」の読書環境・学習環境の充実を図り、親しまれる運営に努める。

- ☐ 桑折町読書活動推進計画に基づく学校図書室との連携、図書ネットワークの推進

(2) 町民への図書の紹介や幼・小・中学校との連携を図り、図書の有効活用・読書活動の充実に努める。

- ☐ インターネット予約・検索システムの推進
- ☐ ブックスタート事業の実施
- ☐ 中央公民館おはなしの会の実施

5 芸術・文化団体活動の奨励・支援

(1) 町民の自主的な芸術文化活動を奨励・支援するとともに、活動成果発表や鑑賞機会としての総合文化祭の充実に努める。

- ☐ 文化団体連絡協議会活動支援
- ☐ 高齢者作品展の実施

6 社会教育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。

- ☐ 地域に有効な地区公民館の管理運営
- ☐ 各施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理

II 健康づくりをめざす社会体育・生涯スポーツの振興

1 社会体育事業の推進

(1) 身近な体育・スポーツ活動を通して、生涯にわたって健康の保持増進と生きがいづくりに努める。

- ☐ 小学生陸上競技大会の開催
- ☐ 健康福祉課との連携による水泳教室・運動教室等の開催
- ☐ 各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施

(2) 総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会の自主的活動を奨励するとともに、各種事業での連携を深め、生涯スポーツの振興に努める。

- ☐ スポーツフェスティバル及び各種スポーツ大会の開催と加盟団体主催大会の支援
- ☐ スポーツ関係団体間の連携強化による活性化の支援

2 社会体育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。

(1) 「イコーゼ！」(屋内温水プール・多目的スタジオ)の安定的かつ効率的な利活用に努める。

- ☐ 年代に応じた各種水泳教室の実施
- ☐ 小中学生水泳授業の実施、桑折町小学校水泳大会の開催
- ☐ 屋内遊び場の活用コンテンツの提供

(2) 社会体育施設及び周辺施設の整備・安全維持管理に努める。

- ☐ 体育施設群活用促進のための充実策の検討
- ☐ 各施設の利用環境の向上、効果的利活用と安全維持管理

Ⅲ 文化財の保護活用

- 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく歴史資源を活かしたまちづくりの推進を図る。
- 文化財やその他の歴史遺産、民俗芸能の保存と活用及び適切な管理に努め、継承を図る。

1 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく文化財の保護・調査・活用の推進

- (1) 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財や歴史的遺産の保存と活用を図るとともに、民俗芸能についても同計画と連携しながら保存・継承に取り組む。
 - ☐ 全国山城サミット桑折大会の実施
 - ☐ 万正寺の大カヤ周辺整備
 - ☐ 史跡桑折西山城跡周辺整備（案内板設置）
 - ☐ 旧伊達郡役所周辺整備（門扉・塀柵改修）
 - ☐ 歴史案内人育成と事業の推進
- (2) 文化財の保存と活用に努めるとともに、文化財保護精神の継承と郷土の歴史的文化の普及啓発に努める。
- (3) 福島県沖地震によって被災した文化財の早期復旧を目指す。

2 史跡桑折西山城跡の適切な管理と活用の推進

- (1) 全国山城サミット桑折大会を契機とした史跡桑折西山城跡の適切な保存管理と史跡の公開・活用に努める。

3 旧伊達郡役所・種徳美術館の適切な管理と活用の推進

- (1) 桑折町文化記念館（旧伊達郡役所・種徳美術館）の地震被害からの早期復旧を目指し、適切な保存管理と建物・収蔵品の公開・活用に努める。

学校教育

1 保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧

(令和3年5月1日現在)

■保育所・幼稚園 [桑折町こども園 園長：齋藤小百合]

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	所 園 長	副園長	学級数	児 童 生徒数
醸 芳 保 育 所	969-1613	桑島三 11-21	582-3229・(同)	三村 隆二		6	89
醸 芳 幼 稚 園	969-1613	桑島三 11-24	582-3014・3024	齋藤小百合	吉田 恵	10	230

■小中学校

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	校 長	教 頭	学級数	児 童 生徒数
醸 芳 小 学 校	969-1613	桑島三 2-8	582-2014・2021	高野 孝男	長澤 敏行	14	274
睦 合 小 学 校	969-1652	成田字堰上 46-3	582-2469・2489	岩井 智哉	中島 伸樹	6	58
半田醸芳小学校	969-1641	南半田字上田町 5	582-3106・3799	遠藤 和宏	室井 昭一	6	96
伊達崎小学校	969-1662	下郡字細町 1	582-5870・6830	大木 修	齋藤麻紀子	7	63
醸 芳 中 学 校	969-1661	上郡字柳下 5	582-3162・3157	石綿 厚	須賀 智	11	286

○令和3年度 幼小中学校現職教育研究主題

	研究教科等	研 究 主 題
醸 芳 幼 稚 園	特別支援教育	「障害のある幼児などの状況に応じた指導を行うための体制について」について個々の幼児の状況に応じた児童内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うために現行の体制に捉われず、保育との関連や小学校との接続を踏まえた実践について探る。
醸 芳 小 学 校	国語科 算数科	教科の特質に応じて「見方・考え方を働かせ資質・能力を育てる授業」～国語科・算数科における豊かな言語活動を通して～
睦 合 小 学 校	全教科	ともに考え、自らの学びを深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
半田醸芳小学校	全教科	「ともに学び合い、磨き合う児童の育成」 ～考えて、かかわって、深める授業の実践～ 新しい学びにつながる振り返りの充実
伊達崎小学校	算数科 理 科	自ら考え、ともに学びを深める児童の育成 ～見方・考え方を働かせるための学習指導の工夫～
醸 芳 中 学 校	全教科	主体的に学習に取り組み、学び合い高め合う授業の創造 ～4つのステップを活かした問題解決的な学習を通して～

2 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革

令和3年3月末現在

【醸芳保育所】

昭和26年4月	県知事の許可を得て開設
昭和36年12月	保育室サンルーム 5坪増築(16.5 m ²)
昭和50年4月	保育室改造 10 m ² (北西保育室) テラス(16.52 m ²)
昭和53年4月	保育室改造(南側2保育室)
昭和55年8月	新園舎改築工事着工
昭和56年1月	近代的な保育室が完成 定員 120 名
平成12年2月	大規模修繕工事完成(乳児室の整備)
平成12年4月	乳児保育開始、地域子育て支援センター開設
平成20年4月	町内幼稚園・保育所の一体運営化に伴い『桑折町こども園』の中に位置づけられる
平成23年7月	所庭表土除去及び所舎の除染
平成24年2月	リアルタイムモニタリングポスト設置工事
平成24年5月	遊具除染及び施設周り除染
平成25年6月	緊急メールシステム導入
平成27年9月	地域子育て支援センターを屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」へ移設 (平成30年4月 事業実施主体を保健福祉課に所管換え)

【醸芳幼稚園】

明治42年4月	字桑島に桑折幼稚園開設(県下第2番目) 園児 27 人
昭和22年4月	醸芳幼稚園と改称
昭和55年1月	独立の現園舎完成 移転
平成6年3月	2年保育に伴い職員室を増設
平成6年4月	2年保育開始
平成10年4月	預かり保育開始
平成14年3月	3年保育に伴い西側に園舎増築
平成14年4月	3年保育開始(6学級化)、醸芳小より分離し独立園へ
平成18年4月	専任園長配置
平成20年4月	町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
平成22年10月	太陽光発電設置工事
平成23年7月	放射線量低減化のため園庭の表土除去、園舎の除染
平成23年8月	各保育室・預かり室・職員室エアコン設置
平成24年2月	リアルタイムモニタリングポスト設置工事
平成24年5月	遊具除染及び園舎周り除染
平成25年4月	緊急メールシステム導入
平成26年6月	築山、鉄棒・ジャングルジム・雲梯塗装、滑り台鉄筋修繕完了
平成27年9月	西側(年中・預かり保育室脇)駐車場拡張整備
平成29年3月	醸芳幼稚園増築園舎落成、複合遊具新設、鉄棒更新
平成29年4月	町内4幼稚園(醸芳・睦合・半田醸芳・伊達崎)を統合した新生「醸芳幼稚園」開園
平成29年11月	園舎改修工事(園長室・保健室・渡り廊下新設・職員室改修)、固定遊具更新(ブランコ・ジャングルジム・雲梯)
平成30年4月	複合遊具撤去
令和元年7月	複合遊具「ホタピータワー」設置

【醸芳小学校】

明治6年9月	字堰上に「公立桑折小学校」創立(木造 45 坪)
明治9年6月	明治天皇東北巡幸時本校に御小休、木戸孝允「醸芳」揮毫
明治19年4月	西町に新校舎落成
明治44年12月	字桑島の現在地に校舎新築(木造 829 坪)

昭和 5 年 4 月	家政女学校併置(昭和 15 年実科高等女学校となる)
昭和 22 年 4 月	桑折町立醸芳小学校と改称、醸芳中学校併置
昭和 28 年 11 月	創立 80 周年記念式、現校歌制定
昭和 33 年 7 月	プール建設落成(10m×25m)
昭和 35 年 4 月	児童数ピーク 833 人
昭和 38 年 9 月	創立 90 周年記念式、県造形教育研究会開催
昭和 40 年 4 月	体育館落成(鉄骨 809 m ²)
昭和 43 年 1 月	センター制完全給食実施、校舎建築始まる
昭和 45 年 1 月	現在の校舎完成(鉄筋 3,239 m ²)
昭和 48 年 10 月	創立 100 周年記念式典挙行(はやぶさ像建立)
昭和 54 年 10 月	優良 PTA として文部大臣表彰
昭和 55 年 11 月	東北造形教育研究大会開催、学研教育賞受賞
昭和 59 年 11 月	東北理科研究大会開催
昭和 62 年 10 月	県体育研究公開、東京端光小との交流始まる(4 月)
昭和 63 年 12 月	県学校体育優良校受賞、全国交通安全優良校受賞
平成 2 年 11 月	県指定国際交流推進研究校公開、中庭造園
平成 7 年 10 月	福島国体(ソフト)開始式に 5・6 年生参加、スポ少サッカー全国大会出場
平成 8 年 11 月	校舎大規模改造第 1 年次完成(普通教室棟)
平成 9 年 11 月	校舎大規模改造第 2 年次完成(特別教室・管理棟)、県小教研社会科研究公開
平成 10 年 2 月	コンピューター 21 台導入
平成 12 年 10 月	醸芳っ子フェスティバル開始、学校評議員導入
平成 13 年 4 月	校地内ビオトープ造成、学校支援ボランティア活動開始
平成 14 年 4 月	ボランティア普及協力校、コンピューター 21 台新調、地域交流センター完成
平成 15 年 10 月	県小教研音楽科研究公開、校庭造成
平成 16 年 2 月	福島夢実現プラン学力向上事業研究公開、航空写真撮影、防球ネット工事
平成 17 年 4 月	学力向上拠点事業(17～19 年度文部科学省指定)、情緒障害学級設置、安全ネット ワーク会議設立
平成 21 年 4 月	プール循環ろ過装置設置、校内インターホン設置
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、地域交流センター避難所開放
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [～7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・ 遊具等の除染 [～8 月]
平成 24 年 10 月	県小教研国語科研究公開
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 25 年 10 月	太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [～平成 28 年度]
平成 26 年 6 月	校舎・ベランダの手すり等の塗装完了
平成 27 年 8 月	登り棒設置、体育館玄関引き戸交換
平成 28 年 8 月	体育館北側汚染土撤去及び駐車場整備
平成 29 年 4 月	かやの実(知的)学級設置、「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定
平成 30 年 4 月	まなびかた教室設置、「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定(第二年次)
平成 30 年 9 月	創立 145 年記念式
令和元年 4 月	「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定(第三年次)
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【睦合小学校】

明治 7 年 8 月	慈雲寺に成田・松原村組合立成田小学校開設
明治 7 年 9 月	観音寺に万正寺・平沢村組合立万正寺小学校開設
昭和 14 年 11 月	字堰上の現在地に新校舎完成
昭和 15 年 4 月	児童数ピーク 466 人

昭和 16 年 4 月	睦合村立国民学校と称す
昭和 30 年 1 月	桑折町立睦合小学校と改称
昭和 35 年 3 月	体育館の改築
昭和 39 年 8 月	プール建設落成
昭和 49 年 9 月	創立 100 周年 校旗・校章・校歌制定
昭和 58 年 2 月	現在の校舎完成(1,825 m ²)
昭和 59 年 11 月	町教育委員会指定国語科学習指導法研究公開
昭和 63 年 11 月	町教育委員会指定特別活動(集会活動)研究公開
平成 3 年 1 月	「勉学の誉れ」基本・表彰規程設立
平成 4 年 11 月	小規模学校教育研究協議会会場校となる、学校田で収穫した米で収穫祭
平成 6 年 8 月	創立 120 周年式典挙行
平成 6 年 9 月	校舎裏山に遊歩道設置(PTA 奉仕作業)
平成 7 年 2 月	体育館改築(815 m ²)
平成 7 年 9 月	簡易駐車場完成(プール西側)
平成 8 年 1 月	県書写書道研究会伊達(桑折)大会研究公開
平成 9 年 7 月	校庭西根堰側防球ネット完成、睦合見守隊発足
平成 12 年 3 月	コンピューター12 台導入
平成 12 年 11 月	ソニー教育論文優良賞受賞
平成 15 年 10 月	県連 PTA 連合会長表彰
平成 17 年度	学力パートナーシップ事業研究指定校 [~19 年度]
平成 18 年度	うつくしま田んぼの学校事業指定校 [~20 年度]
平成 22 年 2 月	ふくしま議定書優秀校表彰、各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [~7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・校舎裏表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染 [~7 月]
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~28 年度]
平成 26 年 5 月	創立 140 周年・現校歌制定 40 周年記念(運動会)
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電装置設置
平成 27 年 5 月	校内放送設備更新
平成 28 年 8 月	校庭南側汚染土撤去
平成 29 年 2 月	体力向上優秀校表彰(ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト)
令和元年 7 月	「夏休みの友」児童写真表紙掲載
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【半田醸芳小学校】

明治 6 年 4 月	泉田泉秀寺に 9 村連合小学校を開設
明治 22 年 4 月	谷地・北半田・南半田の 3 村合併 北半田小学校へ
昭和 22 年 4 月	六・三制施行により半田村立半田小学校と改称、校歌制定
昭和 25 年 4 月	児童数ピーク 721 人
昭和 30 年 1 月	桑折町立半田醸芳小学校と改称
昭和 48 年 7 月	創立 100 周年記念式典挙行
昭和 49 年 11 月	学校給食優良校として文部大臣表彰
昭和 51 年 10 月	交通安全優良校として県表彰
昭和 63 年 1 月	新校舎建築のため講堂・プール跡地に校地を造成する
昭和 63 年 3 月	よい歯の学校優良校として県歯科医師会表彰
昭和 63 年 8 月	学校安全優良校として学校健康センター表彰
平成元年 3 月	現在の校舎完成(校舎 3,301 m ² ・体育館 972 m ²)
平成 2 年 5 月	新校舎落成式、プール完成(3 月)
平成 2 年 9 月	校舎周辺舗装、教材園・花壇・南側植栽完成、交通安全優良校として東北管区警察

	局表彰
平成 3 年 6 月	飼育舎完成
平成 4 年 6 月	校庭遊具整備
平成 8 年 5 月	マーチングバンド用ユニフォーム購入
平成 8 年 6 月	よい歯の学校優良校として県歯科医師会表彰
平成 10 年 4 月	緑の少年団結成
平成 11 年 3 月	コンピューター 21 台導入
平成 11 年 11 月	花いっぱいコンクールで最高賞(県知事賞)
平成 12 年 9 月	半田山に学校林設置
平成 15 年 5 月	「創立 130 周年記念大運動会」開催
平成 18 年 1 月	子ども見守り隊発足
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 22 年 10 月	体育館屋根修理
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、体育館避難所開放、太陽光発電装置設置
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [~7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染 [~8 月]
平成 25 年 4 月	校庭遊具塗装
平成 26 年 5 月	低鉄棒設置
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~28 年度]
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電池室設置
平成 28 年 8 月	校庭汚染土校外撤去並びに校庭周辺フェンス設置 [~9 月]
平成 29 年 11 月	ふくしんこども応援賞最優秀賞受賞
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【伊達崎小学校】

明治 5 年 10 月	大林寺に小学校開設
明治 6 年 9 月	宮内に校舎新築移転
明治 26 年 6 月	伊達崎尋常小学校と改称
昭和 3 年 5 月	現在地に新校舎落成
昭和 15 年 4 月	児童数ピーク 626 人
昭和 16 年 4 月	国民学校令公布 伊達崎村立国民学校と改称
昭和 30 年 1 月	桑折町立伊達崎小学校と改称
昭和 39 年 6 月	プール完成
昭和 40 年 10 月	県教委指定体育学習指導研究公開
昭和 47 年 10 月	創立 100 周年記念式典挙行
昭和 51 年 8 月	現在の校舎完成(2,175 m ²)
昭和 52 年 1 月	校内放送機器設置、校内カラーテレビ放送開始
昭和 53 年 1 月	屋内体育館完成(670 m ²)
昭和 61 年 3 月	フィールドアスレチック施設設置
平成 4 年 10 月	統計教育文部大臣賞受賞
平成 5 年 4 月	校庭南側歩道及びフェンス設置
平成 8 年 3 月	校庭南側に桜苗木植栽・新型焼却炉設置
平成 9 年 2 月	マーチング・キーボード、ユニフォーム購入
平成 9 年 3 月	保健室・職員室にブラインド設置
平成 11 年 4 月	学校指導協力員制度始まる
平成 12 年 4 月	学校評議員制発足
平成 13 年 3 月	コンピューター 13 台導入
平成 13 年 5 月	ビオトープ「どろんこパラダイス」完成、インターネット接続開始
平成 14 年 9 月	体験果樹園「桃の楽園」開園

平成 14 年 10 月	「創立 130 周年記念学習発表会」開催
平成 15 年 12 月	地域イントラネット事業により公共施設との接続開始
平成 17 年 3 月	校庭東側道路拡張
平成 17 年 7 月	ウサギ小屋完成、プール送水管修理
平成 17 年 11 月	校庭東側に植樹
平成 20 年 7 月	校舎耐震・大規模改修工事〔～21 年 12 月〕
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 22 年 6 月	校庭全面芝生化(うつくしまグリーンプロジェクト)
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、体育館避難所開放
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール、校舎内(ベランダ等)・体育館周り・遊具等の除染〔～6 月〕
平成 24 年 10 月	県小教研国語科研究公開協力校(授業提供・研究発表)
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 25 年 10 月	太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校〔～28 年度〕
平成 26 年 10 月	校庭防球ネット設置
平成 27 年 6 月	校庭全面芝生化
平成 28 年 8 月	駐車場汚染土撤去及び整備
令和 2 年 3 月	特別支援学級(わかくさ)設置
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【釀芳中学校】

昭和 22 年 4 月	桑折・睦合・半田・伊達崎に各新制中学校創立
昭和 28 年 7 月	字道下に新校舎・体育館落成
昭和 29 年 12 月	桑折・半田を統合、桑折町・半田村組合立釀芳中学校となる
昭和 30 年 8 月	校旗・校歌を制定
昭和 34 年 10 月	33・34 年度文部省指定産業教育(職業家庭)研究発表
昭和 35 年 11 月	創立 10 周年記念式典挙行
昭和 36 年 4 月	睦合・伊達崎を統合・校舎増築、桑折町立釀芳中学校となる
昭和 37 年 11 月	優良 PTA として県教育委員会表彰
昭和 38 年 8 月	プール完成(25m×15m・8 コース)
昭和 40 年 4 月	統合後の生徒数ピーク 1,140 人、特殊学級を開設
昭和 42 年 10 月	創立 20 周年記念式典挙行
昭和 43 年 1 月	完全給食開始
昭和 51 年 5 月	機械警備ガードマン制導入
昭和 52 年 11 月	TBC こども音楽コンクール東北大会吹奏楽最優秀賞
昭和 54 年 3 月	アンサンブル全国大会金賞(金管四重奏)
昭和 57 年 11 月	56・57 年度文部省指定生徒指導研究発表
昭和 58 年 7 月	県中学校総合体育大会バスケットボール優勝(男子)
平成 2 年 8 月	3 年教室および廊下の腰板修理
平成 3 年 7 月	新校舎建築着工(現在地)
平成 3 年 11 月	東北放送子ども音楽コンクール東北大会優秀校
平成 4 年 6 月	新校舎体育館建築着工
平成 5 年 2 月	新校舎・体育館完成(校舎 6,587 m ² ・体育館 1,752 m ² ・柔剣道場 561 m ²)
	現在地字柳下に校舎移転改築
平成 5 年 4 月	コンピューター設置
平成 5 年 12 月	校舎落成式(プール・テニスコート完成)
平成 6 年 11 月	陶芸室完成
平成 7 年 3 月	校舎・プール周辺の舗装完成
平成 8 年 1 月	平成 6・7 年度県教委指定書写指導研究発表

平成 9 年 5 月	創立 50 周年記念植樹・記念碑建立(同窓会)
平成 10 年 10 月	平成 9・10 年度文部省指定人権教育公開研究会
平成 10 年 12 月	コンピューター42 台導入
平成 11 年 4 月	新制服制定(新入生よりエコ製品採用)、インターネット回線接続
平成 11 年 10 月	PTA 基金事業除幕式、オルゴール放送設備の設置、生活活動記録掲示板の設置、校歌歌碑移転
平成 13 年 3 月	屋外大時計設置
平成 13 年 8 月	東北中学校ソフトテニス大会第 3 位、全日本中学校ソフトテニス大会出場 2 回戦進出
平成 14 年 4 月	新教育目標設定、インターネット光ファイバー回線接続
平成 15 年 8 月	野球グラウンド内野全面改修
平成 18 年 10 月	中学校教育研究会県大会特別活動部会
平成 20 年 10 月	東北放送こども音楽コンクール東北大会管楽合奏優秀賞
平成 21 年 10 月	東北放送こども音楽コンクール東北大会最優秀賞サックス五重奏
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、太陽光発電装置設置
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 6 月	グラウンド斜面・プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・玄関前・体育館・テニスコート周り等の除染〔～7 月〕
平成 25 年 5 月～	「学力向上地域連携事業」推進拠点校
平成 25 年 11 月	平成 25 年度放射線教育推進支援事業実践協力校として授業公開
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業拠点校〔～28 年度〕
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電装置設置
平成 29 年 1 月	テニスコート人工芝全面張替
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

3 歴代校長名簿

釀芳小学校				51 伊藤 好幸 H27~	15 金澤 武夫 S 8~	24 三浦 寛一 S 8~
1 梅津 清平 M 6~	52 木村 政文 H29~	16 小松 光治 S15~	25 近藤 景助 S14~			
2 黒井小源太 M 9~	53 高野 孝男 H31~	17 上 田 盈 S16~	26 塩田 柘雄 S18~			
3 堀 退 蔵 M10~	睦合小学校		27 安部 丑亥 S21~			
4 保 山 清 M11~	1 石田 弼常 M32~	18 高橋 廣記 S19~	28 鈴木 正孝 S22~			
5 堀 退 蔵 M12~	2 鹿山 林造 M33~	19 蔭山 亮心 S21~	29 鈴木 正一 S24~			
6 永井 道忠 M14~	3 佐藤 祐蔵 T10~	20 西 恭 三 S27~	30 古川松太郎 S30~			
7 阿部徳次郎 M15~	4 佐藤 勘六 S 1~	21 五十嵐秀夫 S34~	31 内池 謙三 S36~			
8 佐川 重善 M16~	5 横山 繁治 S 4~	22 大 谷 香 S39~	32 黒羽 健三 S40~			
9 若山 直章 M18~	6 伊 達 忠 S15~	23 古川 安之 S41~	33 安 斎 武 S43~			
10 佐川 重善 M19~	7 上田 信蔵 S17~	24 黒羽 健三 S43~	34 菅 野 甫 S46~			
11 斎藤 重太 M19~	8 豊島 桂一 S22~	25 泉 幸 一 S47~	35 鈴木 保男 S51~			
12 門間 貞蔵 M20~	9 鈴木 正恵 S26~	26 熊坂 修一 S49~	36 八 島 完 S57~			
13 加藤 隆瑞 M21~	10 氏家久仁夫 S34~	27 穴戸 成男 S53~	37 長 根 智 S62~			
14 常 見 甫 M27~	11 大 谷 香 S36~	28 大杉 光夫 S56~	38 大竹 英智 H 2~			
15 加藤 隆瑞 M31~	12 古川 安之 S39~	29 猪俣 好巳 S60~	39 戸井田 健 H 5~			
16 天野 景明 M31~	13 山川 和二 S41~	30 高山 胤能 H 1~	40 松浦 常雄 H 7~			
17 山崎 朋之 M33~	14 油井 悦治 S43~	31 小平 光雄 H 4~	41 小澤 富雄 H 9~			
18 武川 教義 M36~	15 佐 藤 弘 S49~	32 佐藤 洋一 H 7~	42 角田 俊雄 H13~			
19 加藤友之助 M39~	16 半 澤 正 S52~	33 石岡 恒憲 H 9~	43 菱沼 一良 H17~			
20 松井 秀英 M40~	17 鈴木 子郷 S54~	34 飯 塚 哲 H11~	44 高 橋 徹 H20~			
21 今野甚三郎 T 2~	18 山本 昌行 S59~	35 村上 幸男 H15~	45 丹治 睦雄 H23.8~			
22 岡山幸太郎 T 6~	19 長谷川壽子 S63~	36 佐藤 吉則 H18~	46 坂本 貴洋 H25~			
23 大木喜代之進 T11~	20 熊耳 昭壽 H 3~	37 山内 雄和 H21~	47 宮内 憲司 H28~			
24 船木善四郎 T12~	21 三浦 哲夫 H 5~	38 伊藤 好幸 H24~	48 半澤 正保 H30~			
25 仲村辰四郎 T15~	22 安倍 幸夫 H 8~	39 福士 久子 H27~	49 大 木 修 R 2~			
26 前川 三省 S 5~	23 中川 源美 H10~	40 穴戸 広子 H29~	釀芳中学校			
27 草野 佳政 S 7~	24 渡邊 和夫 H12~	41 遠藤 和宏 R 2~	1 高田哲太郎 S25~			
28 菅野 圓蔵 S 9~	25 大橋 芳光 H14~	伊達崎小学校		2 岩谷 唯近 S29~		
29 三浦 寛一 S16~	26 我 彦 武 H17~	1 穴 戸 遵 M 5~	3 遠 藤 力 S40~			
30 紺野長四郎 S18~	27 菊 池 淳 H20~	2 西山 正躬 M 6~	4 遠藤 伊雄 S46~			
31 佐藤庄左衛門 S19~	28 菅野 敦子 H22~	3 渥美 榮蔵 M11~	5 黒羽 健三 S48~			
32 遠 藤 經 S21~	29 五十嵐正彦 H25~	4 本多 定積 M12~	6 萩原 盛良 S52~			
33 武 藤 昌 S30~	30 大 槻 誠 H28~	5 小澤正太郎 M13~	7 黒須 撰三 S54~			
34 佐久間武善 S36~	31 旗野 宣久 H31~	6 大鷹三之助 M13~	8 大 友 寛 S57~			
35 五十嵐秀夫 S41~	32 岩井 智哉 R 3~	7 堀 捨次郎 M14~	9 須永 英次 S60~			
36 原 田 貞 S50~	半田釀芳小学校		10 大草 榮治 H 2~			
37 古山 直一 S53~	1 大波 廣吉 M22~	9 末永 敬明 M17~	11 紺野 明男 H 5~			
38 目 黒 衛 S56~	2 佐久間兼蔵 M24~	10 柚 原 勉 M18~	12 田中 民二 H 7~			
39 佐 藤 弘 S59~	3 菅野 忠夫 M29~	11 永井延次郎 M20~	13 菅野金四郎 H10~			
40 松田 源治 S60~	4 志 賀 敏 M34~	12 猪城徳二郎 M21~	14 武田 正昭 H15~			
41 鴨田 喜夫 H 1~	5 愛澤辰次郎 M36~	13 石上三郎平 M22~	15 湯田 健一 H17~			
42 永井 俊博 H 3~	6 藤本 春児 M38~	14 長澤清太郎 M27~	16 鈴木喜三郎 H20~			
43 大竹 英智 H 5~	7 三木常次郎 M42~	15 加藤 丈吉 M29~	17 蓬田 吉穂 H25~			
44 佐藤 榮壽 H 7~	8 佐藤子之松 T 1~	16 瀬谷市太郎 M34~	18 神 野 與 H27~			
45 矢葺 光政 H10~	9 安藤 保蔵 T 4~	17 木幡 次郎 M40~	19 大 木 修 H29~			
46 石岡 恒憲 H13~	10 宮崎喜三郎 T 6~	18 一條 七蔵 M42~	20 石 綿 厚 R 2~			
47 古宮 睦男 H17~	11 井上鉄次郎 T 9~	19 野 地 榮 T 3~				
48 村上 幸男 H20~	12 清信留之助 T11~	20 仲村辰四郎 T 9~				
49 高 橋 徹 H23.8~	13 斎藤 芳夫 T12~	21 黒澤 眞明 T11~				
50 会田 智康 H25~	14 清野 一郎 S 2~	22 高玉 良助 T13~				
		23 菅野 勝美 T15~				

4 中学校卒業生の進路状況

■令和2年度 釧路中学校の進路状況

(令和3年5月1日現在)

学科の種類	学 科	県(国)立	私 立
普通教育を主とする学科	普 通 科	28	25
専門教育を主とする学科	農業に関する学科	4	
	工業に関する学科	5	9
	商業に関する学科	8	
	家庭(食物・福祉)に関する学科		3
	看護に関する学科		
	情報に関する学科	3	
	理数に関する学科		
	美術に関する学科		
	外国語に関する学科		
	国際文化に関する学科	1	
	文理に関する学科	1	
	スポーツに関する学科		2
総合的に施す学科	総 合 学 科	3	
計		53	39
合 計		92	

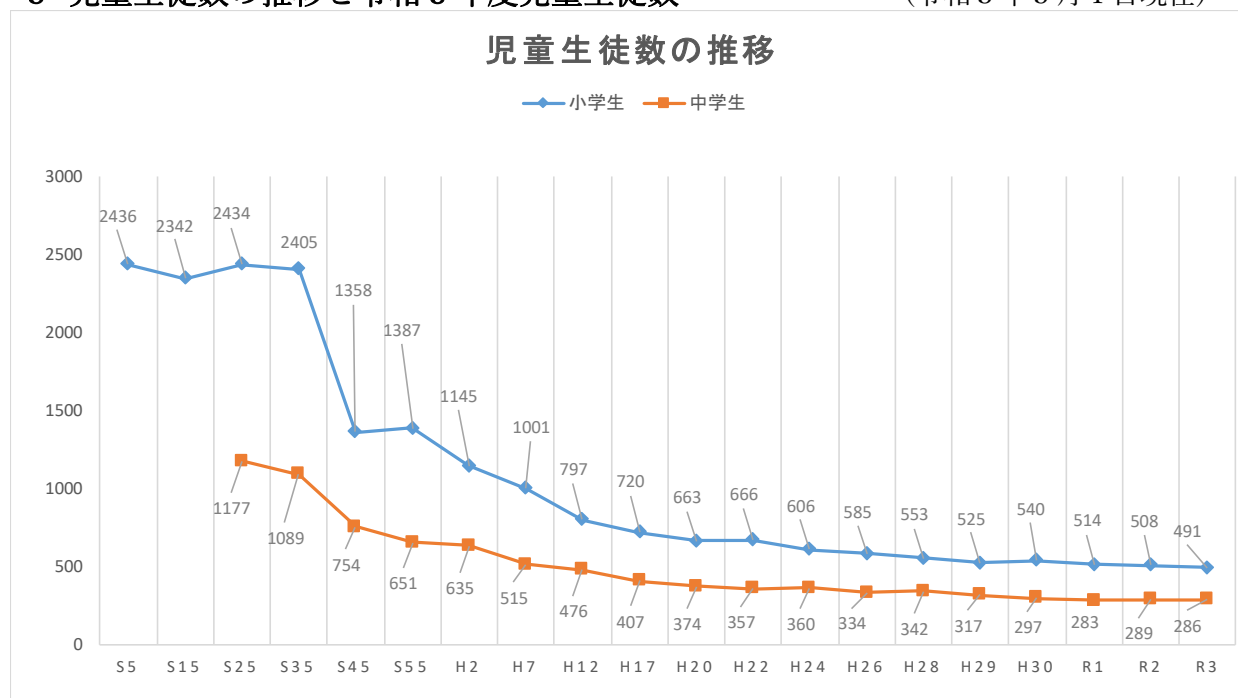
〈参考資料〉

課程	県立高校				私立高校		国立	就職	その他	合計
	全日制	定時制	通信制	特別支援	全日制	通信制				
男	26	2			18	1			1	48
女	24			1	16	4				45
計	50	2		1	34	5			1*	93

* 「その他」：私立通信制3次募集出願予定

5 児童生徒数の推移と令和3年度児童生徒数

(令和3年5月1日現在)



■令和3年度児童生徒数

(令和3年5月1日現在)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	33	49	35	53	39	37	44	51	46
女子	43	44	38	42	31	47	47	48	50
計	76	93	73	95	70	84	91	99	96

6 児童生徒の体位

■平均値(令和3年5月)

※全国平均値は令和2年度

年 齢	区 分	身長 (cm)		体重 (kg)	
		男子	女子	男子	女子
6 歳 (小 1)	桑折町	117.0	114.9	23.2	20.3
	全 国	117.8	116.7	21.8	21.3
7 歳 (小 2)	桑折町	122.2	121.0	24.4	24.2
	全 国	123.5	122.7	25.2	24.2
8 歳 (小 3)	桑折町	129.0	127.2	27.9	26.4
	全 国	128.9	128.2	28.2	26.7
9 歳 (小 4)	桑折町	133.9	133.2	32.9	28.9
	全 国	134.4	133.3	32.4	30.3
10 歳 (小 5)	桑折町	139.4	139.3	35.1	33.9
	全 国	139.9	141.5	36.8	34.5
11 歳 (小 6)	桑折町	146.4	146.7	42.9	38.6
	全 国	147.3	148.3	40.2	41.5
12 歳 (中 1)	桑折町	152.4	151.5	43.8	43.7
	全 国	153.9	152.4	45.5	44.5
13 歳 (中 2)	桑折町	161.3	155.3	50.8	49.8
	全 国	160.6	155.2	50.0	47.8
14 歳 (中 3)	桑折町	166.0	157.1	54.1	50.4
	全 国	166.3	156.9	55.1	50.2

■児童生徒の身長・体重の推移（過去５年間）

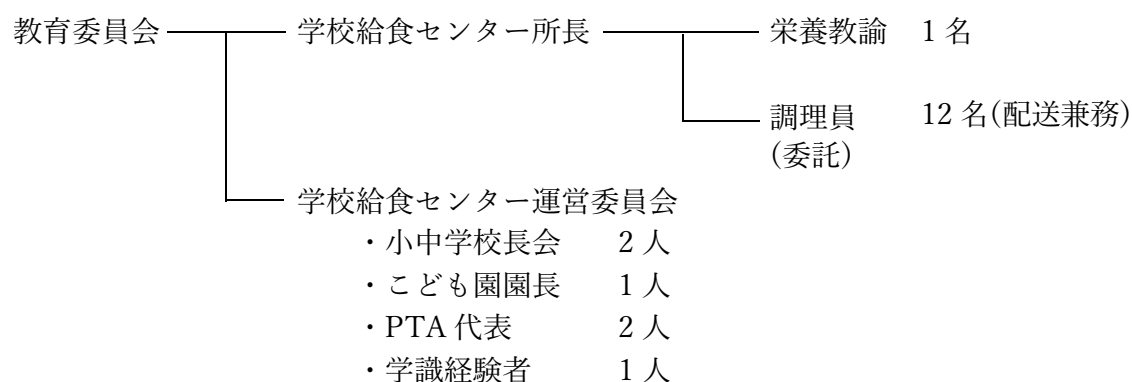
身長（単位：cm）			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
男子	小学校	1年	116.9	116.7	117.0	117.2	117.0
		2年	122.9	122.9	122.9	123.0	122.2
		3年	128.6	128.5	128.4	128.2	129.0
		4年	133.9	133.9	134.0	133.4	133.9
		5年	140.1	139.4	140.8	139.1	139.4
		6年	146.5	146.2	145.1	145.7	146.4
	中学校	1年	153.8	153.6	153.2	153.2	152.4
		2年	161.0	161.1	160.5	161.0	161.3
		3年	165.6	165.3	166.5	166.4	166.0
女子	小学校	1年	114.9	115.1	115.2	115.1	114.9
		2年	121.1	121.5	120.3	120.9	121.0
		3年	128.2	126.6	127.7	126.5	127.2
		4年	133.0	134.6	132.0	132.5	133.2
		5年	141.6	140.4	139.6	139.5	139.3
		6年	146.0	148.2	145.4	147.3	146.7
	中学校	1年	152.4	150.9	152.5	151.7	151.5
		2年	155.7	155.3	153.7	155.6	155.3
		3年	156.6	157.0	156.8	155.4	157.1

体重（単位：kg）			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
男子	小学校	1年	22.4	21.7	21.8	21.7	23.2
		2年	24.2	25.3	25.2	25.2	24.4
		3年	28.2	27.1	28.3	27.3	27.9
		4年	31.3	31.7	31.7	32.5	32.9
		5年	36.8	35.3	37.2	34.7	35.1
		6年	39.9	40.6	38.7	40.5	42.9
	中学校	1年	46.0	45.8	44.8	46.1	43.8
		2年	51.1	50.8	50.2	52.6	50.8
		3年	55.5	55.7	54.2	56.1	54.1
女子	小学校	1年	20.6	20.6	21.1	20.5	20.3
		2年	23.1	23.1	23.4	22.8	24.2
		3年	28.4	26.3	26.4	26.4	26.4
		4年	30.1	31.8	29.8	28.9	28.9
		5年	38.0	34.8	34.7	34.5	33.9
		6年	40.9	42.7	38.2	40.9	38.6
	中学校	1年	47.7	45.1	46.3	44.8	43.7
		2年	50.0	49.2	49.1	49.9	49.8
		3年	51.3	52.6	51.8	52.6	50.4

7 学校給食事業

(1) 学校給食センターの概要

- 名 称 桑折町学校給食センター
- 所 在 地 〒969-1661 桑折町大字上郡字堰下 45
- 電話・FAX 024-581-0250・024-581-0251
- 敷地面積 3,652 m²
- 建物構造 鉄骨造 一部2階建
- 延床面積 1040.70 m²
- 調理能力 1日 2,000 食
- 運営組織



(2) 給食の状況

	幼稚園			小学校			中学校			合 計
学校数	1 園			4 校			1 校			6 校
給食人員	260 人			567 人			310 人			1,137 人
年間実施回数	123 回			180 回			184 回			・ 町内全小中学校幼稚園 に提供 ・ センター職員も喫食 ・ 給食費の保護者負担は 幼稚園が H23 年度から 無料、小中は H30 年度 から半額 ・ 麺は月 2 回で、麺のな い週は米飯 4 回(小中) ・ 米飯はセンター炊飯
給食費(1 食)	265 円			270 円			314 円			
給食費年額 (うち保護者負担)	32,595 円 (なし)			48,600 円 (23,760 円)			57,776 円 (28,152 円)			
主食の形態 (週当たり回数)	米飯	パン	麺	米飯	パン	麺	米飯	パン	麺	
	3	1	0	3.5	1	0.5	3.5	1	0.5	

(3) 学校給食センターの沿革

昭和 43 年	1 月	桑折町伊達町国見町三町の学校給食センター方式による小・中学校への完全給食開始
昭和 51 年	4 月	米飯給食を導入
平成 10 年	12 月	バイキング給食を導入
平成 12 年	8 月	桑折町学校給食センター(単町)による小中学校への給食開始 地元農産物導入
平成 13 年	4 月	アレルギー対応食導入
	6 月	セレクト給食導入
	12 月	テーブルマナー給食導入
平成 14 年	4 月	地元産米の導入
平成 23 年	4 月	幼稚園給食費保護者負担無料措置開始
平成 24 年	1 月	食品放射能濃度測定器設置(給食センター用 1 台) 学校給食及び食材等の放射性物質濃度測定開始
平成 25 年	6 月	食品放射能濃度測定器を桑折町役場桑島分庁舎へ移設
平成 26 年	4 月	学校給食調理・配送業務を民間委託
平成 30 年	4 月	小中学校給食費保護者負担半額措置開始
	10 月	塩分量削減の取り組み開始

(4) 施設の概要

① 給食センター本体

(単位：㎡)

階別	面 積	内 訳			
1	897.70	玄関・ホール	15.00	前室	34.58
		事務室	41.70	調理室	199.60
		トイレ	10.00	サラダ室	16.40
		検収室	31.20	洗浄室	199.40
		下処理室	35.28	厨芥処理室	8.00
		食品庫	12.63	コンテナ室	102.00
		冷凍庫	7.41	廊下	51.00
		米庫	16.00	倉庫	12.60
		炊飯室	72.00	機械室	32.90
2	143.00	会議室	32.00	洗濯室	12.00
		男子休憩室	26.00	トイレ	16.00
		女子休憩室	21.50	廊下	35.50
合計	1040.70	※床構造：ドライ方式			

② その他

・車庫：80.00 ㎡ ・自転車置場： 4.01 ㎡

生涯學習

1 生涯学習関係審議会・機関

【桑折町社会教育委員】条例により昭和 30 年設置

委員 12 名 任期 2 年（令和 3 年度～令和 4 年度）

氏 名	役 職
石 綿 厚	醸芳中学校長
高 野 孝 男	町小中学校長会長（醸芳小学校長）
及 川 純 子	町 P T A 連絡協議会長
浅 野 隆 良	町文化団体連絡協議会長
山 木 一 芳	町スポーツ協会長
青 柳 良 憲	学識経験者
石 幡 正 則	町社会福祉協議会常務理事
山 室 芳 子	「地域クラブ」協力ボランティア代表
林 王 直 美	ファミリー文庫「ら・みるく」代表
岡 崎 忠 一	総合型地域スポーツクラブ会長
阿 部 公 嗣	「夢ほたる・こおり」事務局長
亀 岡 和 美	前地域学校協働活動推進員

【桑折町スポーツ推進委員会】条例により昭和 34 年設置

委員 8 名 任期 2 年（令和 3 年度～令和 4 年度）

氏 名
山 木 一 芳
大 谷 葵
金 野 麻 衣
渡 辺 重 子
塩 谷 靖 夫
蓬 田 勝 徳
関 根 正

【桑折町文化財保護審議会】条例により昭和 51 年設置

委員 10 名 任期 2 年（令和 2 年度～令和 3 年度）

氏 名	役 職
吉 田 良 典	観音寺住職
石 井 亮 佑	元桑折町郷土史研究会長
鈴 木 文 夫	桑折町郷土史研究会長
渋谷 浩 一	桑折町商工会長
笠 松 金 次	歴史研究家
斉 藤 純 雄	元桑折町史編纂専門委員
青 柳 良 憲	桑折町文化財保存会長
関 根 勉	桑折町歴史案内人
佐 藤 伴 美	無能寺住職
佐 藤 耕 三	元福島県教育庁文化財課副課長

2 生涯学習関係団体

【桑折町青少年育成町民会議】昭和 57 年発足

会 長 高橋 宣博（町長）

副会長 本間 英樹、浅野 剛生、佐藤 久仁夫、渡邊 健児

【桑折町スポーツ協会】昭和 42 年発足

会 長 山木 一芳

副会長 竹中 綾子、塩谷 靖夫

加盟団体：種目団体 17 団体

スポーツ少年団 7 種目

【桑折町スポーツ少年団】昭和 46 年発足

本 部 長 伊藤 好幸（中央公民館長）

副本部長 岡田 和人

加盟団体：7 種目

【桑折町文化団体連絡協議会】昭和 50 年発足

会 長 浅野 隆良

副会長 大野 俊昭、大槻 純子

3 生涯学習関係施設一覧

【公民館施設一覧】

区分	公 民 館 名	電 話	所 在
中央公民館	中 央 公 民 館 （イコーゼ！内）	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
	中 央 公 民 館 分 室 （遊学館「よも～よ」）	582-5388	〒969-1643 桑折町大字谷地字道下 6-1
地区館	桑 折 公 民 館 （桑折町民会館）	582-2564	〒969-1613 桑折町字桑島三 103
	睦 合 公 民 館 （睦合ふれあい会館）	582-2468	〒969-1652 桑折町大字成田字坊ノ内 19-1
	伊 達 崎 公 民 館	582-4313	〒969-1662 桑折町大字下郡字堂ノ前 11-1
	半 田 公 民 館 （半田コミュニティセンター）	582-3121	〒969-1641 桑折町大字南半田字八反田 10-1

【体育施設一覧】

区分	施設名	電話	所 在
複合施設	屋内温水プール・多目的スタジオ	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
体育館	町 民 体 育 館	582-3713	〒969-1661 桑折町大字上郡字林泉寺前 1-1
テニスコート	桑 折 テ ニ ス コ ー ト		〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 25-1
運動場	町 民 運 動 場		〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1

【文化施設一覧】

施設名	電話	所 在
桑 折 町 文 化 記 念 館	582-5507	〒969-1617 桑折町字陣屋 12

【その他の施設】

施設名	所 在
桑折町地域交流センター	〒969-1617 桑折町字桑島二 21-1

4 社会教育・スポーツ関係沿革

昭和22年	桑折・睦合・半田・伊達崎公民館条例を制定し、各公民館を設置。
昭和24年	社会教育法公布。桑折町公民館県表彰。
昭和25年	第1回成人式挙行。伊達崎公民館に保原高校季節別学級設置。
昭和27年	松原公民館新築。青年学級・婦人学級・成人学級開設。
昭和29年	半田公民館新築及び県表彰。
昭和30年	町村合併により桑折町桑折・睦合・半田・伊達崎公民館と改称、公民館条例制定。
昭和31年	桑折婦人学級開設（文部省委嘱）松原公民館県表彰。
昭和32年	旧桑折町役場庁舎に桑折公民館移転。
昭和33年	醸芳高校伊達崎分室設置。
昭和34年	桑折町公民館使用料条例を制定。
昭和36年	地区青年学級4学級を中央青年学級1学級とする。
昭和38年	桑折町公民館連絡協議会発足。第1回如月杯囲碁将棋大会開催。
昭和39年	各公民館に家庭教育学級開設。
昭和40年	各公民館の運営審議会を中央1本に統一。農村青年教室開設。
昭和41年	公民館機能を整備し、本館館長に教育長が就任。地区館長を兼務。 公館剣道場を桑折公民館に開設、第1回桑折町・国見町剣道大会開催。 第1回文化祭開催。農村建設班開設。
昭和42年	機構改革により公民館を統合し、桑折町公民館と改め、地区館を分館に、分館を部落館とする。 文化講座開設。桑折町体育協会発足。
昭和45年	青年学級3コース制（農業専修・社会教養・家庭）とする。 委嘱婦人学級県表彰。
昭和46年	桑折町スポーツ少年団本部設置。桑折町青年会発足。
昭和47年	福祉センター完成、桑折町公民館は入る。
昭和48年	町民運動場完成、町民運動場条例制定。第1回大字対抗350歳ソフトボール大会開催。
昭和49年	町民体育館完成、町民体育館条例制定。第1回ふるさとの遊び講習会及び大会開催。 第1回館長杯争奪バレーボール大会開催。
昭和50年	優良公民館として県教委表彰。企業内青年学級2学級開設。 幼児家庭教育学級開設。スポーツ振興審議会条例制定。 文化団体連絡協議会発足。
昭和51年	町民プール完成。町民プール条例制定。優良公民館として文部大臣表彰。 桑折町社会教育振興計画策定。 桑折町体育協会を組織替えし、桑折町スポーツ協会と名称を変更。
昭和52年	第1回町民運動会開催。
昭和53年	児童向け図書巡回貸し出し開始（睦合・半田）。第1回少年ソフトボール大会開催。高齢者学級を高齢者大学・大学院制に改める。桑折町スポーツ協会県教委表彰。
昭和54年	母と子の公民館活動（親子読書教室）開設。 第1回桑折町・国見町マラソン大会開催。
昭和55年	公民館剣道道場をスポーツ少年団に全面移管。 日独スポーツ少年団同時交流受け入れ。
昭和56年	ふるさと少年教室開設。高校生地域活動事業開設。婦人リーダー教室開設。桑折町青年団体連絡協議会発足。 桑折町公民館を改築、桑折町民会館として完成（桑折公民館併設）。
昭和57年	桑折町青少年育成町民会議発足。青少年育成地区懇談会開催（20ヶ所）。明日の親のための教室設。
昭和58年	桑折町スポーツ協会文部大臣表彰。婦人ボランティア学級開設。 日独スポーツ少年団同時交流を受け入れ（2度目）。

	学校開放事業「屋外運動場照明施設」伊達崎小学校に設置。
	下成田集会所に（昭和 53 年完成）睦合公民館が入る。
昭和 59 年	高齢者教育促進会議・高齢者ボランティア教室開設。町内一周駅伝競走大会開催。360 歳ソフトボール大会をスローピッチ 450 歳ソフトボール大会に改称。
昭和 60 年	桑折町合併 30 周年記念行事を開催。第 31 回全日本一般男子ソフトボール大会開催。青年ボランティアグループ「紙風船」県表彰。アジア地域スポーツ交流事業を実施（マレーシアと交流）。
昭和 61 年	中高年教育講座ナイスライフ教室開設。半田コミュニティセンター完成、半田公民館が入る。桑折勤労者体育センター完成。
	桑折町文化団体連絡協議会設立 10 周年記念式典挙行。
昭和 62 年	桑折町スポーツ協会設立 20 周年記念式典挙行。
	日独スポーツ少年団同時交流受け入れ（3 度目）。
昭和 63 年	伊達崎公民館完成。少年リーダー（中学生）研修会開設。
	第 15 回東北総合体育大会（なぎなた競技）開催。
	第 41 回福島県総合体育大会ソフトボール（成年 2 部）開催。
平成 元年	第 16 回福島県ゲートボール大会開催。第 3 回全日本クラブ男子ソフトボール普及大会開催。国際理解を深める少年教室開設。
	桑折町スポーツ少年団日本スポーツ少年団表彰。
平成 2 年	桑折町民テニスコート・クラブハウス完成。伊達崎女性講座開設。
	第 2 回福島県縦断駅伝競走大会初出場。
	ふくしま国体桑折町準備委員会発足。
平成 3 年	L・A クラブ（青年学級）開設。半田コミュニティセンター・伊達崎公民館管理人を常駐にする。ふれあいコミュニティー広場完成。半田コミュニティセンター駐車場舗装工事施工。
平成 4 年	桑折町スポーツ協会を桑折町体育協会に名称変更。
平成 5 年	睦合テニスコート完成。第 50 回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会開催。第 1 回熟年女子バレーボール大会開催。
	ふれあい公園完成。町民運動場夜間照明設備完成。
平成 6 年	日本男子ソフトボールリーグ 2 部第 3 節桑折大会を開催（国体開始式リハーサル）。
平成 7 年	第 50 回国民体育大会ソフトボール競技成年 2 部を開催。
	桑折町文化団体連絡協議会設立 20 周年記念式典挙行。
平成 8 年	町公民館条例を改正、本館の名称を中央公民館に改め、分館制度を廃止する。
平成 9 年	伊達崎公民館に自転車置場設置。
平成 11 年	睦合ふれあい会館完成、睦合公民館が入る。各地区公民館に館長（社会教育指導員）を設置。各地区公民館の管理運営等を統一。
平成 13 年	子ども情報誌を作成するための「伊達地区子どもセンター」設置。
平成 14 年	児童・生徒が休日を有意義に過ごすためにボランティア指導者による「こおり地域クラブ」を開設。
	「持ち込み講座」開設。ブックスタート事業実施。
	桑折町スポーツ少年団結成 30 周年記念式典挙行。
平成 15 年	事務機構改革により中央公民館に生涯学習課を設置。
	成人教室「町民カレッジ」を開設。家庭教育学級「親子教室」を開設。
	桑折勤労者体育センター条例改正、名称を桑折町民第 2 体育館とする。
平成 16 年	青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的・効果的に推進するために「桑折町体験活動・ボランティア活動支援センター」を中央公民館内に設置。コーディネーター 1 名を配置。
	「桑折町生涯学習推進基本計画」策定。
	中央公民館外装改修塗装工事施工。
	幼児用プール防水塗装改修工事施工。
平成 17 年	少年教室「こおりキッズスクール」を開設。
	町民プール防水工事施工。

	ふれあい公園整備工事施工。
	桑折町文化団体連絡協議会設立 30 周年記念式典挙行。
平成 18 年	各地区公民館長（社会教育指導員）を各館 1 名、計 4 名体制から、2 館 1 名、計 2 名体制となる。 各公民館に夏休み学習室開設。
平成 19 年	睦合・半田・伊達崎公民館に休館日（毎週月曜日）を設ける。 成人教室「町民カレッジ」を「こおり友遊くらぶ」に改名。 中央公民館に図書学習室を新設。 公民館・体育館関係条例を改正し、使用料を見直す。
平成 20 年	第 20 回全国生涯学習フェスティバルが開催。桑折町も見本市に出展。
平成 21 年	学校支援地域本部事業に取り組む。
平成 22 年	総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」が設立する。 第 52 回全国社会教育研究大会福島大会に参加。 中央公民館及び町民体育館の耐震補強計画を策定。
平成 23 年	東日本大震災により桑折町は震度 6 弱の震度を観測。甚大な被害が発生した。町民体育館は危険により閉鎖、中央公民館大ホールはステージと天井に被害を受け閉鎖する。また、福島第一原子力発電所の事故の影響により、町民プールの開設を見送る。
平成 24 年	中央公民館は東日本大震災被害及びアスベスト材使用が確認され休館となる。その間桑折公民館へ事務所を移す。 町民体育館は修繕不能のため解体。
平成 25 年	図書機能充実のため、民間の遊休施設を借り上げて、中央公民館分館（遊学館「よも～よ」）を設置。 中央公民館や町民体育館が使用不能となったことで、町民の活動に支障を来していることから、他施設の一部利用者の使用料を当分の間免除扱いとなる。 中央公民館解体撤去。 種徳美術館再開。旧伊達郡役所保存修理事業完了。
平成 26 年	姉妹都市交流事業として、エリザベスタウン市への訪問団派遣を再開。 町民運動場バックネット裏屋根工事施工。 睦合公民館維持管理工事施工。
平成 27 年	桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」完成、同条例制定。 「桑折町生涯学習推進基本計画（第 2 次）」策定。
平成 28 年	「イコーゼ！」内に、屋内遊び場開設。 国道 4 号施設案内標識を掛け替え。
平成 29 年	「中央公民館長」を専任配置。 「ふれあい公園」内に、屋根付屋外ステージ「ピーチウィング」完成。
平成 30 年	桑折町体育協会設立 50 周年記念式典挙行、同記念誌発行。 桑折町体育協会の名称を「桑折町スポーツ協会」に変更。
平成 31 年	桑折町体育施設条例及び桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ条例の一部を改正し、使用料を見直す。
（令和元年）	「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。 「桑折西山城復元祭」を開催。
令和 2 年	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の中止・延期・縮小を余儀なくされる。 各地区公民館長を専任配置（桑折地区を除く）。 全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ 2020」を開催。 睦合テニスコート廃止。 福島県沖地震（R3.2.13）により、睦合公民館、町民体育館、旧伊達郡役所、種徳美術館が被災し、一時休館となる。

資料編

桑折町の15歳のめざす姿

桑折町教育委員会

桑折町においては、0歳から15歳の義務教育修了時までの、子どもの15年間の成長を見据えた教育を実施しています。その最終的な目標について、保護者・地域・こども園・学校等の教育にかかわる者すべてで共有するとともに、発達段階に応じて子ども自身にも理解させることにより、家庭・地域・学校等のそれぞれの教育の充実を図り、桑折の子どもたちの望ましい成長の実現をめざします。

高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳

～社会的自立の基礎を身に付け、よりよい生き方を追求するとともに、社会の形成者としての基礎的資質を身に付け、共に生きようとしている15歳～

家庭

【知】 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。

変化の激しいこれからの社会において、一人一人が自立して生きるとともに、社会の発展を支えることができるように、確かな学力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- よりよい学習習慣・家庭習慣を身に付け、自ら進んで学習に取り組むことができる。
- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得している。
- 習得した知識や技能をもとに、自ら考え、判断し、表現している。



地域

【徳】 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。

ふるさと桑折町に生まれ育ったことに感謝しながら、今後もよりよい家庭・地域・社会を築いていくことができるように、郷土愛・礼節・思いやりを身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- 歴史と伝統を尊び、郷土に誇りを持っている。
- 自他を思いやり、よりよい人間関係を築いている。
- 社会の一員として決まりを守り、礼節を重んじる態度を身に付けている。

こども園

【体】 心身ともに健康で、たくましく生きるための体力を備えている。

一人一人が生涯を通して生き生きとした生活を送ることができるように、心身ともに健やかで、どんな困難にも負けない精神力や体力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- 健康で安全に生きていくための知識や能力を身に付けている。
- 望ましい生活習慣や食習慣を身に付けている。
- 運動、スポーツに親しみ、心身の健康保持増進を図り、たくましい体力を身に付けている。

学校

令和3年度 醸芳保育所 所経営・運営ビジョン

【目指す保育所像】

～笑顔と歓声あふれる保育所～

- ◆子どもも保育士も生き生きと活動している保育所
- ◆人々が親しむ、和やかさが醸し出されている保育所
- ◆様々な遊びを誘発する新鮮で清潔な環境の保育所

【目指す保育士像】

- ◆社会人としての自覚を持つ保育士
モラルやルール、マナーを身に付けている
- ◆心身ともに健康な保育士
困難に負けない精神力と体力を身に付けている
- ◆保育目標を達成するために同僚性を持つ保育士
組織の一員として役割を果たそうとする
- ◆専門性の研鑽を積む保育士
カリキュラムマネジメントにおけるPDCAの実施
研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる
- ◆個々の特性を生かして保育にあたる保育士
発達段階を踏まえ、個々の乳幼児理解を深めながら保育する
- ◆人間性豊かな保育士
所を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む

【乳幼児の実態】

- ◆母親や家人・保育士に甘えたい気持ちが多い
- ◆受容されることで、安心して過ごす
- ◆生活習慣の一つ一つを保育士と一緒にじっくり取り組む
- ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉や身振りなどで伝えようとしている
- ◆友達や保育士と一緒に遊ぶことを喜んでいる
- ◆絵本やお話を見たり、読んでもらったりすることを好む乳幼児が多い
- ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られる

【保護者・地域の願い】

- ◆安全、安心な環境での生活
- ◆基本的な生活習慣の確立
- ◆たくさんの友達との円滑なかわり
- ◆心身の健やかな成長
- ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成

保育目標～心豊かにたくましく生きる子ども～

受容的・応答的関わりのもとで、非認知能力を高める。

養護

教育

養護と教育が一体となった保育

- ◆生命の保持
・安全な環境のもとで、生命の保持と生活の安定
愛情豊かな受容で、生理的欲求を満たし、自分でやろうとする意欲を育てる。
適切な生活リズムを整える。
- ◆情緒の安定
・安心できる保育者との関わりの中で、情緒の安定
好奇心を持って、様々なものに関わる。
スキンシップの機会を多く持ち、心の安定を図る。
自我の芽生え（友達との関わりからの経験の中から、自分の思いや欲求を言葉で表現しようとしていたり、我慢しようとしていたりする心の力を育てる。）

【領域】

- 健康・身体・運動・基本的な生活習慣・安全・体を使った遊びを楽しむ。
- 身近な人と気持ちが通じ合う
- ◆言葉（聞く・発語・会話・絵本）・保育士との応答的な関わりの中から、簡単な言葉を使って自分の気持ちを表そうとしていたり、言葉ややり取りをたのしんだりする。
- ◆人間関係（保育士・友達・地域の人々・家族）・保育士や友達に自分の思いや欲求を言葉で表現する。
- 身近な物と関わり感性が育つ
- ◆環境（玩具・遊具・自然・施設・動物）・身近な玩具・遊具・自然に触れ、保育士や友達と一緒に遊ぶ。
- ◆表現（ビーサイン・模造・見立て・歌う・踊る）・興味のあるものを模倣したり、保育士と一緒に歌ったり、踊ったりする。

【地域との連携】

- ◆地域の人や施設とのかかわり
・サロン交流会・『イコーゼ!』の利用
・ボランティア支援センターの活用
・子育て支援センターとの交流

【保・小・中との連携】

- ◆異年齢交流（幼保）
- ◆ボランティア、実習等の受け入れ

【食育】

- ・食事の環境を整備し、食べたいという意欲を育て、食事のリズム・生活リズムを確立する。

【重点実践事項】

- ◆幼児の健康な心と体を育て、体を動かす心地よさや楽しさを感じ取らせる保育士のかかわりの工夫
- ◆豊かな心が育つように絵本に興味を持てる場や提示及び経験や活動の提示の工夫
- ◆知的な好奇心を満足させるような環境の工夫
- ◆事故なく安心して生活できる環境の提供

【その他の事項】

- ◆保護者の養育力につながるよう支援し、家庭との連携を図る。
- ◆自己評価を基本にしながら、保育指導力の向上につながるよう、研修を深め、保育の充実に努める。
- ◆日本の伝統的な食事を取り入れ、栄養のバランスを考え、衛生的で安全な食事を提供する。
- ◆アレルギー食への対応も行い。ヒューマンエラーを最大限防ぐよう対応する。
- ◆乳幼児の望ましい「家庭生活のポイント」の確立に向けて、家庭との連携を図った取り組み。

【家庭との連携】

- ◆所便り
- ◆毎日連絡帳の記入
- ◆降所時に保護者との直接連絡等
- ◆PTA活動
- ◆規則正しい生活環境づくりの推進
(生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)
- ◆幼児教育への理解促進
(家庭教育学級の実施・ホームページの充実)

【目指す園像】

～笑顔と歓声あふれる幼稚園～

- ◆園児と教師がいきいきと活動している園
- ◆園児を中心に保護者や地域の人々が親しみ、和やかさを醸し出す笑顔あふれる園
- ◆夢中になって遊べる環境を工夫し、一人一人の輝きを引き出す園

【目指す教師像】

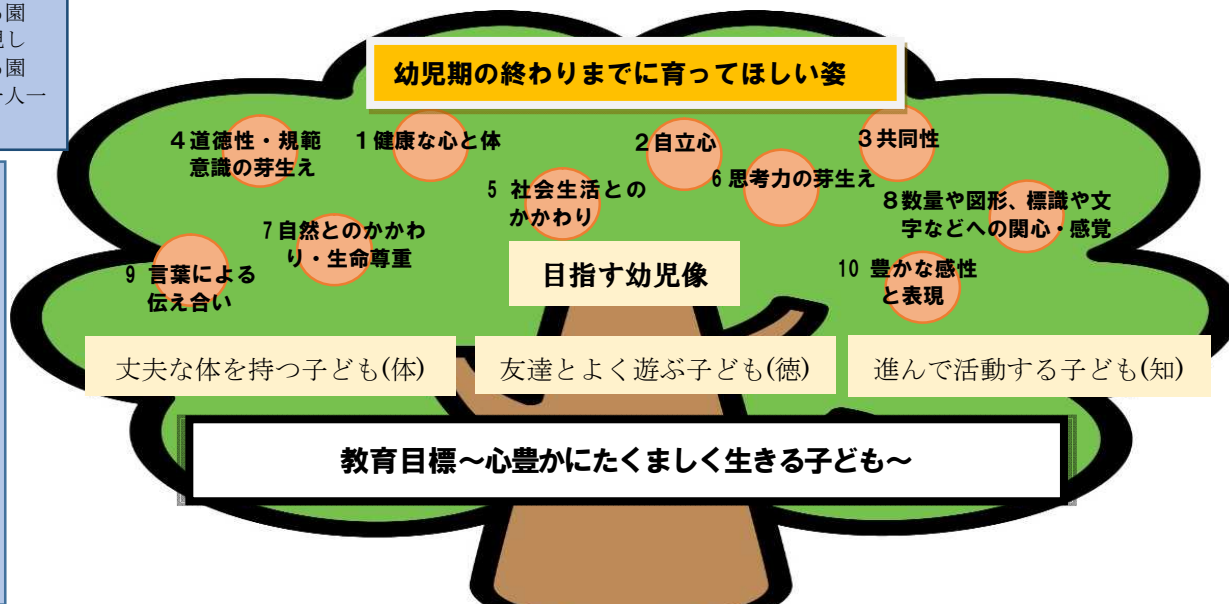
- ◆社会人としての自覚を持ち、モラルやルール、マナーを守る教師
- ◆心身ともに健康で困難に負けない精神力と体力を身に付けている教師
- ◆教育目標を達成するために同僚性を持ち組織の一員として役割を果たそうとする教師
- ◆主体的に研修や自己研鑽に励み、専門性を高めようとする教師
- ◆幼児一人一人のよさや可能性を見だし引き出していく教師
- ◆園を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む教師

【幼児の実態】

- ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉で伝えようとする幼児が多い
- ◆友達や教師と一緒に遊ぶことを喜んでいる
- ◆絵本やお話を好む幼児が多い
- ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られ、それに伴い体力・運動能力が向上している。
- ◆多くの友達と触れ合うことで、お互いに刺激し合い切磋琢磨している姿が見られる。

【保護者・地域の願い】

- ◆安全、安心な環境での生活
- ◆基本的生活習慣の確立
- ◆たくさんの友達との円滑なかかわり
- ◆心身の健やかな成長
- ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成



【5領域】 ◆健康(運動・基本的生活習慣・安全) ◆人間関係(教師・友達・地域の人々・親) ◆表現(感性・閃き・創造性) ◆環境(自然・物・施設・動植物) ◆言葉(聞く・話す・絵本)

【特別支援教育の充実】 「個別の支援計画」や「個別の指導計画」等の作成・活用

【重点実践事項】

- ◆「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮し多様な体験ができる教材の工夫、試行錯誤や考える過程の重視
- ◆特別な支援を要する幼児への関係機関との連携、保護者との合意形成、個別の支援・指導計画の作成
- ◆体を動かす気持ちよさを体験させるための発達年齢に合わせた遊具の工夫と季節に合った環境づくり
- ◆豊かな心が育くむために絵本に興味や関心が持てるような環境の充実
- ◆こおり幼児ことばの教室の指導体制の充実

【その他の事項】

- ◆望ましい生活習慣や食習慣を身に付けられるように「家庭生活習慣のポイント」を活用し家庭との連携に努める。
- ◆指導の振り返りや話し合いによる幼児理解に基づいたよさや可能性に目を向けた評価の工夫・活用
- ◆預かり保育の家庭的雰囲気や安心して過ごせる環境への配慮
- ◆家庭と連携した感染症対策の実施

育みたい能力・資質3本柱

知識・技能の基礎

遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか

思考力・判断力・表現力等の基礎

遊びや生活の中で気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり試したり、工夫したり、表現したりするか

遊びを通しての総合的な指導

【幼稚園の基本】

- ◆幼児の主体的な活動と幼児期にふさわしい生活の展開
- ◆遊びを通しての指導を中心とし、ねらいを総合的に達成
- ◆幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか

【家庭との連携】

- ◆園便り◆園生活の様子
- ◆家庭訪問・学級懇談 個別懇談・降園時の連絡等
- ◆PTA 活動
- ◆ファミリーティーチャー活動
- ◆規則正しい生活環境づくりの推進(生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)
- ◆幼児教育への理解促進(家庭教育学級の実施・ホームページの充実)

【保・小・中との連携】

- ◆異年齢交流(幼保、幼小、幼中)
- ◆ボランティア、実習等の受け入れ

【地域との連携】

- ◆地域の人や施設とのかわり
 - サロン・緑風園やコクーンとの交流会
 - 体験活動・ボランティア支援センターの活用



学校経営の基本方針

- ① 一人一人のよさを生かし、生き生きと輝く活気に満ちた学校づくりを推進する。
- ② 授業の質的改善を図り、すべての子どもに「わかる、できる授業」を実践し、確かな学力を育成する。
- ③ 体験的な活動や縦割り班活動等の集団活動を一層充実し、豊かな心とたくましさを育成する。
- ④ 体力づくりと健康づくりを推進し、心身ともに健康な体と最後までやり抜く力を育成する。
- ⑤ 家庭や地域との連携を深めて、地域が誇れる教育を推進する。
- ⑥ 高い倫理観と自律心を持って職務に当たる。
- ⑦ 学校事故防止を図るため、最大限の努力をする。

教育目標

よく考えて学ぶ子ども
親切で思いやりあのある子ども
健康で明るい子ども

桑折町の
15歳の
めざす姿

目指す学校像

- 子供たちの笑顔が輝く学校
- 明るく楽しく学びがいがある学校
- 一人一人の特性を大切にする学校
- 安全・安心感のある学校

目指す教職員像

- 子どものよさを認め、伸ばし、情熱を持って育む教職員
- 課題に気づき、考え、行動できる教職員
- 倫理観が高く、専門性、資質の向上を目指す教職員
- 子ども・保護者・同僚から信頼される教職員

自分から「本物のあいさつ」「本物の学び」「本物の思いやり」「本物のチャレンジ」福島県内一の学校

重点目標

よく考えて学ぶ子どもの育成

- **楽しく、わかる授業づくり**
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり
 - ・課題提示、発問の工夫
 - ・思考を深める分かりやすい板書
 - ・「学び合い」による思考力・判断力・表現力の育成
 - ・多様な学習形態の工夫の推進(交換、合同、T・T授業)
 - ・ユニバーサルデザインを生かした授業づくり
- **基礎・基本の定着と確かな学力の育成**
 - ・読み・書き・計算の「徹底反復の時間」の徹底
 - ・個別の指導方法の工夫と充実
 - ・活用力育成シート、定着確認シート、問題集の活用、補充学習、発展学習の時間の確保
 - ・算数ジュニアオリンピックへの積極的参加
 - ・漢字・計算大会の実施(7月、12月、3月)
- **醸芳中学区連携による主体的な学習態度の育成**
 - ・学習の約束(醸芳スタンダード)の徹底
 - ・家庭学習の手引きの見直しと家庭学習の習慣化
 - ・スケジュール表を活用した教育相談の実施
 - ・自主学習展(毎学期)の実施と評価の工夫
- **情報教育、外国語活動の推進**
 - ・ICT機器の積極的な活用と情報モラル教育の充実
 - ・英語で話す能力を高める授業の工夫
- **読書活動の推進**
 - ・読書タイムや読書の時間の確保と家読の推進(読了賞、完読賞の表彰)
 - ・図書委員会、学校司書や図書ボランティアによる「読み聞かせ」
 - ・良書の紹介コーナーの充実やビブリオバトルの実施

親切で思いやりのある子ども育成

- **人間関係形成能力の向上**
 - ・よさを認め合う学級集団づくり
 - ・「おはよう」「こんにちは」「さようなら」のあいさつ力の向上
- **豊かな体験活動を生かした教育活動**
 - ・ふるさと教育(西山城跡見学)、平和学習の推進
 - ・外部人材、外部施設活用による体験の充実
 - ・幼、異学年交流による体験の推進
 - ・キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実
- **命や思いやりを大切にする教育活動の推進**
 - ・満足感、自己有用感の持てる学級経営
 - ・「考え・議論する道徳科」の授業の充実(授業参観時1回公開)
 - ・命、思いやり、感謝等の価値を考える授業
 - ・「醸芳っ子の約束」を活用した規範意識を高める生徒指導の充実
- **係活動、委員会活動や朝のボランティア活動の推進**
 - ・自発的・自治的な児童会活動の推進
 - ・ボランティア活動の推進(4, 5, 6年生)

健康で明るい子どもの育成

- **運動内容と運動方法を充実**
 - ・体力運動プログラムの継続と運動量の確保
 - ・めあてを持って楽しく運動できる場の設定と指導方法の工夫
 - ・業間運動「はやぶさタイム」の工夫や全学年「タグラグビー」の実施、外遊びの奨励
 - ・ふくしま体力向上総合プロジェクトへの参加
- **基本的生活習慣の確立と食育の推進**
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
 - ・「健康チェック」・保健相談の積極的な推進
 - ・保健・学級活動の授業を通じた実践化
 - ・家庭・関係機関と連携した歯みがき、食育の取組(健康教室)
- **安全に対する意識や行動力の育成**
 - ・緊急時の対応力を身に付ける安全教育の実施(交通教室、避難訓練、防犯教室、放射線教育)
 - ・集団登下校の指導の充実

具体的重点事項

評価

- ☆ 児童、保護者、教職員の自己評価・学校評価
- ☆ 学校評議員による学校評価
- ☆ 評価時期(行事ごと、学期毎)

- ☆ 現職研修による授業力の向上
- ☆ 国語・算数単元テストの平均85点以上
- ☆ 学力テストNRT偏差値55アンダーアチーバー0
- ☆ 教育公務員として自覚と不祥事根絶の意識高揚
- ☆ 不登校0、いじめ未解決0へ向けた取組、対応

学校の経営方針

- 1 安全・安心、信頼される学校づくりの推進
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能の確かな定着
- 3 学習指導要領を踏まえた指導の充実
- 4 人権意識を高め「いじめのない学校」をめざす
- 5 健やかな心身を育てる健康教育の推進
- 6 読書指導の充実
- 7 少人数の良さを生かした学習指導・生徒指導
- 8 指導力を培う校内研究・研修充実

目指す学校像

- 学ぶ事が楽しい学校
- 元気な声がひびく学校
- うるおいのある学校

目指す教師像

- 教育愛に満ちた教師
- 専門性を磨く教師
- 人間性豊かな教師



睦み合いの心

教育目標

向上心を持ち 実践力のある児童の育成

～見あげる心 かがやく目～

めざすこども像

進んで学ぶ子供

確かな学力の定着

望ましい学習習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる

1「主体的、対話的で深い学び」をめざす授業を実践します。

- 「わかった・できた」を実感できる授業実践
- 学び方の定着(学びのスタンダード)
- 活用力・表現力を高める授業実践(ふくしまの「授業スタンダード」・活用力育成シート)

2 自ら学ぶ学習習慣を育成します。

- 徹底反復の推進
- 家庭と連携した家庭学習の推進(家庭学習スタンダード)
- 自主学習の工夫(ノートづくりと展示会・自学コンテスト)
- ステップ学習の奨励(アシストシート)

3 読書習慣を育成します。

- 学年必読書の設定と読書奨励
- 読書活動の充実(図書ボランティア・読み聞かせ)

思いやりのある子供

豊かな人間関係づくり

自他を大切にすることをもち、快くすすんで協力できる

1 望ましい人間関係を育成します。

- 互いの良さを認め合う集団づくり
- 相手を思いやる心の育成
- 縦割活動、異学年交流活動の充実

2 人権を尊重する豊かな心を育成します。

- 特別な教科「道徳科」の充実
- 自己肯定感・存在感の醸成
- 人権課題を意識した指導(人権教育)
- 人権課題: LGBT, インターネット、いじめ、震災等による人権侵害

3 豊かな社会性を育成します。

- 体験活動の充実(自然文化体験学習、出張出前講座、ふるさと学習、キャリア教育)
- 地域人材の活用(学校支援ボランティア、ゲストティーチャー)

元気でねばり強い子供

健やかな心と体の育成

基本的な生活習慣を身につけて、目標に向かい努力することができる

1 基本的な生活習慣を育成します。

- 心身の健康を保つ生活習慣の育成(早寝・早起き・朝ごはん)

2 体力の向上を図ります。

- 「体力向上1校1実践」の実施
- 運動身体プログラムの実践による授業の充実

3 健康・安全教育の充実を図ります。

- 専門家による食育授業と健康管理の推進
- 健康・安全・放射線教育の充実
- 感染防止対策の徹底(新しい生活様式に沿った学校生活)

開かれた学校の構築

特別支援教育の充実

- 個に応じた支援
- 関係機関・専門家との連携
- 通級指導との連携

家庭との連携

- メディア教育の推進(町連携)
- 「家読(うちどく)」の推進(町連携)
- 積極的な情報発信
- 学校へ行こう週間○学校評価の実施

地域との連携

- ふるさと学習の充実
- 幼稚園や町内各学校等との連携
- 学校評議員会(年2回開催)
- 地域行事への参加奨励
- ゲストティーチャーの活用
- 地域教育素材活用

新しい生活様式を意識した教育

制約がある中でも最大限の教育効果

教育活動の基盤整備・多忙化解消

- GIGAスクール構想への対応
- 統合型校務支援システムの活用
- チーム睦合の体制強化
- 子供と向き合う時間の確保

第6次福島総合教育計画

「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」

桑折町教育振興基本計画

教育委員会重点事項

「桑折町の15歳のめざす姿」

保護者の願い

- 安全で安心な生活を送らせたい。
- 自分から学習に取り組んで欲しい。
- 基本的な生活習慣を身につけさせたい。
- 健康で強い心と体を育てたい。

<目指す学校像>

- ・明日も来たい、楽しい学校（児童）
- ・子供のために勤務したい学校（教師）
- ・通わせてよかったと言える学校（保護者）
- ・わが地区のすばらしい学校（地域）



<目指す児童像>

- ・自ら考え、共に学び合い、自己実現できる子供（知）
- ・相手の身になって行動できる、優しさと強さをもつ子供（徳）
- ・健康な心と体づくりを意識し、実践できる子供（体）



<教育目標>

- 考える子（知・夢いっぱい）
 思いやりのある子（徳・笑顔いっぱい）
 たくましい子（体・元気いっぱい）

<今年度の重点目標>

夢に向かって突っ走れ！ 努力できる子 半田っ子

「学力の確実な定着」「自主的、積極的な行動」「強くたくましい心」の育成をめざし、学習、運動、学校行事等において、年間を通して努力する行動目標

<令和3年度 学校教育指導の重点>

「ふくしまの和」で奏でる心豊かなたくましい人づくり

<夢をかなえる県北の教育>

目標達成のために努力し工夫できる子供

<桑折町の15歳のめざす姿>

高い志をもって、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳



<学校経営の基本理念> 「半田プライド」を胸に、ふるさとを愛し、高い志と強い意志をもち、地域とともに学ぶ「半田っ子」の育成

◎は重点指導項目

確かな学力の向上（考える子）

1 確かな学力をめざす学習指導の充実

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・読み書き計算徹底反復（チャレンジタイム）
- ・「ふくしま活用育成シート」の活用
- ・個別指導の時間の確保（ちょこっとタイム）
- ◎「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業
- ・ふくしまの「授業スタンダード」の活用
- ・思考力、判断力、表現力を高める課題解決型授業
- ・「話す、聞く、書く」活動の充実 ・振り返りの時間の確保
- ◎ICTを効果的に活用した授業実践



2 特別支援教育の充実

- 合理的配慮、個別の指導計画を生かした授業実践
- 校内支援体制の整備、関係機関との連携

3 外国語科、国際理解教育の充実

- 外国語科の授業力の向上
- EAT、ALTとのTTによる外国の言語や文化の理解

4 読書活動の推進

- 読み聞かせの実施と読書時間の確保（読書タイム）
- 「家読の日」（毎月23日）の推進

5 家庭学習の習慣化と自己マネジメント力の向上

- ◎ふくしまの「家庭学習スタンダード」の活用
- 「半田醸芳小 家庭学習の仕方」の活用

豊かな人間性の育成（思いやりのある子）

1 道徳教育の充実

- 考え、議論する道徳科の授業の実践
- 道徳科授業の公開とGTの活用

2 生徒指導の充実

- 安心して過ごせる学級づくり
- ・積極的な生徒指導の推進（教育相談、心のアンケート、生活アンケート、QUテスト）
- ・自己肯定感の向上を図る日常生活指導の工夫（活躍の場の確保、ほめる機会の設定、「夢いっぱい賞」表彰）
- いじめ・不登校の未然防止
- ・早期発見のための児童観察と相談活動 ・関係機関との連携



◎基本的生活習慣の確立

- ・規則正しい生活、言葉遣い、二言挨拶、返事、靴そろえ、ゲーム機器等の使用

◎縦割り班活動の充実

- ・ふれあいタイム・わんぱくタイムでの活動、無言清掃

3 人権教育の推進

- 各教科等における人権や人権問題についての内容の充実（平和、障害者、高齢者、病気感染者、性的マイノリティ）
- 日常生活を通し、人権教育を基盤とした実践力の向上

4 環境教育の充実

- 自然・体験活動の充実（緑の少年団、森林環境学習、宿泊学習、学校田、学校畑）

体力向上と健やかな心身の育成（たくましい子）

1 教科体育の充実と運動の日常化

- 「1学級1実践」の継続した取組（新体力テストの分析から）
- 体育科授業の充実
- ・体づくり系、器械運動系、ボール運動系の単元の指導の充実
- ・体育専門アドバイザーの活用
- ・運動身体づくりプログラムの年間を通しての実施
- 朝マラソン、朝ダッシュ（なわとび）の取組と各種校内記録会の実施
- 体を動かす多様な遊びの推奨と日常化（遊具、クロスリコーズ）

2 保健健康指導の充実

- ◎「早寝早起き朝ご飯」の習慣化の徹底（生活習慣調査、規則正しい生活）
- 歯の衛生指導（フッ化物洗口の継続的実践を含む）
- 肥満傾向児童へのすこやか教室の実施
- メディアコントロールの推進

◎新型コロナウイルス感染症予防指導

3 食育の充実

- 食事のマナーとバランスのとれた食生活の指導
- TTによる食育授業の推進と「親子で作るお弁当の日」の指導の充実

4 防災教育・安全教育の推進

- 安全に生活する態度の育成と放射線教育の系統的指導
- 具体的な場面を想定した危険予知・回避能力の育成（避難訓練）
- 緊急時の危機管理マニュアルの周知・徹底（引き渡し訓練）
- 毎月の安全点検の実施と改善（児童教師合同安全点検の実施）



特色ある教育活動・開かれた学校づくり 「半田ならではの」

- 「ふるさと学」の推進と地域人材の活用
- ・半田銀山そば、半田の歴史学習、西山城学習、ホテル学習、半田祇園ばやし、だんごさし
- 人とかかわりを大切にした交流活動（異学年、他校、高齢者、地域）
- 学校、学年、保健、食育、生徒指導等各種おたよりの計画的な発行
- HPによる保護者や地域へのタイムリーな情報発信と情報収集
- 緊急連絡メール配信システムの有効活用
- 学校評価を生かした、反省・改善の変容が見える教育実践



教職員の専門的な資質・能力の向上 「チーム半田」

- 全職員が目的意識と研修意欲をもった職務遂行と学校運営への積極的参画
- 教職員人事評価を中心に据えた教職員の意識改革と教師力の向上
- 現職教育を中心とした自己研鑽と校内研修の充実
- ・外部講師の活用 ・実効性のある授業研究会の推進（互見授業の充実）
- 不祥事絶無をめざす高い倫理観と法令遵守の意識高揚
- ・服務倫理委員会の充実と不祥事ゼロ
- 教職員同士の信頼感やセーフティネットの役割の構築
- 働き方改革を意識した業務改善により、子どもと向き合う時間の確保



令和3年度 桑折町立伊達崎小学校 学校経営・運営ビジョン

<児童の実態>

よさ

- 素直で仲良く上級生と下級生がみんなで協力して活動すること
- 与えられた仕事に一生懸命に取り組むこと
- 誰に対してもあいさつができること

課題

- T P Oにに応じて自分で判断して行動できるようにすること
- 他の意見を尊重しながらも自分でしっかりと考え納得するまで追究すること

学校評価等アンケートから見える課題

- コロナ禍の中でもできる限り行事を充実させること
- 良書に親しむ読書を推進すること
- 早寝早起きの健康的な生活習慣を身につけさせること

【教育目標】

- よく考え、本気で学習する子ども
- 明るく元気にやりとげる子ども
- 心豊かな礼儀正しい子ども

めざす子ども像

自分のよさを発揮しさわやかで信頼される12歳
笑顔と元気にあふれ自信をもって挑戦できる子ども
教育活動のコンセプト

力いっぱい頑張りにより達成感や成就感を味わわせ
子どもに笑顔と元気と自信を生み出す。

目標 ⇒ 頑張り ⇒ 振り返り のサイクル

成長の自覚 やればできる（自己効力感）

基盤 時を守り 場を清め 礼を正す

桑折町15歳のめざす姿

- ～ 高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとする15歳 ～
- （知） 学ぶ意義を理解し習得した知識や技能を進んで生かそうとしている
- （徳） 郷土愛にうち、自他を大切にし社会に貢献しようとしている
- （体） 心身ともに健康で、たくましく生きるための体力を備えている

伊達崎小学校に望むこと ～ 学校評議員会から

- コロナ禍でも子どもたちが元気になる取組をしてほしい。
- 伊達崎に誇りをもてるように地域の歴史や産業を教えてほしい。
- 地域の人材を十分に生かして伊達崎ならではの教育を行ってほしい。

喫緊の課題

- タブレット導入に伴う情報活用能力の育成 GIGA スクール構想

重点	知 学力向上 授業改善 集中した学習 質の高い授業	徳 道徳 読書 体験 礼儀 心豊かな人間への歩み	体 健康増進 体力向上 安全安心 自律した生活 やり遂げる強さ	連携 保護者 地域 教育委員会 各学校 開かれたしなやかな学校
具体的実践事項	1 基礎学力向上 ・「読み・書き・計算の徹底反復」（週3回）実施 ・まとめ・振り返りの充実による基礎基本の定着 ・書く力の育成（新） 2 授業改善 ・現職教育を中心とした授業研究の実施 ・児童の実態把握・分析と実態に応じた教材作成 ・県施策「学びのスタンダード」町教委「授業改善充実」の視点を基にした授業改善 3 個に応じた学習支援 ・個々の学力の分析と個別指導・支援の工夫 ・インクルーシブ教育の視点で合理的配慮を取り入れた授業 4 家庭学習の充実 ・「家庭学習スタンダード」自己マネジメント力の向上の推進 ・自己学習ノート活用の推進とノート展の実施	1 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の充実 ・「特別の教科 道徳」の趣旨に沿った授業の実施（指導と評価の工夫） ・授業参観において「特別の教科 道徳」の授業を公開 2 豊かな体験活動の推進 ・体験活動を通して道徳性の育成を図る。（行事や特別活動や登校班、清掃の縦割り班活動、鼓笛演奏等による人とのふれあい） ・地域の方々との交流や地域素材を生かした多様な体験活動の充実 3 読書活動の推進 ・読書活動（週3回）毎月23日家読の日による読書の推進 ・図書室の充実による読書の推進 4 生徒指導の充実 ・場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができる児童の育成（心ある「あいさつと返事」） ・生活のきまりを身に付けさせ、望ましい生活態度を育てる。	1 運動の日常化の推進 ・「あぶくまマラソン」「なわとび」の実施 ・運動身体づくりプログラムの徹底 ・自力登下校の奨励 ・校庭、体育館での遊びの奨励 2 感染症予防の対策 ・基本的な対策の継続 ・児童会委員会の活性化による知識の定着 ・町・地域・学校医・PTAとの連携 3 正しい生活習慣の徹底 ・メディアとのかかわり方（GIGAと関連させる） ・健康教育（食生活・歯磨き等）の充実 ・保護者の協力 4 防犯・防災教室の充実 ・訓練の実施 ・災害対応に関する具体的な知識 ・関係機関の協力	1 P T A活動の活性化 ・コロナ禍中での会議及び行事等の開催方法を工夫する。 ・会員数の減少に伴う組織編成について改善する。 2 地域の関係機関、人材との連携強化 ・交通事故防止、安全安心な登下校のための連携や情報交換を強化する。 ・桑折町教育委員会のコーディネートを生かした連携を強化する。 3 桑折町各教育機関との連携強化 ・桑折町教育委員会の施策と方針を理解する。 ・各学校との情報交換を密にして、共同歩調をとることと学校独自の取組について判断して実践する。 4 情報発信のツールの活用 ・学年だより、学校だよりやホームページやメールを効果的に活用し、保護者と協力して、子どもたちの安全・安心を確保し教育効果を上げる。
検証指標	1 達成指標 (1) N R T学力検査 平均偏差値 アンダーアチーバー (2) 徹底反復学習 合格者割合 (3) 学校評価項目 わかりやすい授業 2 実践指標 (1) 教員全員の授業研究の実施 (2) 家庭学習 ノート展の実施	1 達成指標 (1) 学年ごとの 冊数の読破 (2) 学校評価項目 あいさつ 等 (3) いじめ見逃し 0 (4) 不登校 0 2 実践指標 (1) 道徳の授業の公開 (2) ふれあいの時間の効果的な運用	1 達成指標 (1) あぶくまマラソン自己ベストの更新 (2) なわとびの自己ベストの更新 (3) 体力テスト (4) 新型コロナウイルス 未然防止 2 実践指標 (1) 運動会（スポーツ集会）の円滑な運営 (2) 防災訓練の実施	1 達成指標 (1) P T A活動の円滑な実施 2 実践指標 (1) 学級だよりの発行 (2) 学校だよりの隔週発行

子どもを支え伸ばす教師像

教育目標の達成を目指して貢献する教師 協力して教育活動を行う教師 子どもの実態をとらえて指導・支援する教師 学び合い高め合い向上的変容を遂げる教師

学校運営のスタンス

教職員全員が教育効果を上げるため自分の持ち場でに全力を尽くす。一人ひとりの教職員が担当する部門・領域のリーダーシップを発揮する。民主的効率的な運営に努める。 ※校務支援システムの運用
働き方改革の視点 重点化＝まず授業 スクラップ＝無駄をなくす ブラッシュアップ＝現行の取組の充実を図る そしてビルド＝新規取組 集中＝タイムパフォーマンスを上げる 安心＝支え合い

令和3年度 桑折町立醸芳中学校 学校経営・運営ビジョン

<生徒の願い>

- いじめのない学校にしたい。
- 進んであいさつができるようにしたい。
- 明るく活気のある学校にしたい。

<保護者の願い>

- 学力を向上させてほしい。
- 進路指導を充実させてほしい。
- いじめがないように指導してほしい。
- ねばり強い人間に育ててほしい。

<地域の願い>

- I C T機器などを十分に活用し、時代に合った教育を進めてほしい。
- 不登校生徒への支援を十分に行ってほしい。

～高い志を持って、自分の将来を切り拓こうとしている15歳～

- 知** … 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。
- 徳** … 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。
- 体** … 心身共に健康で、たくましく生きるための体力を備えている

【教育目標】

- 自立** ～ 自ら学び、考え判断、行動し、自分を高める生徒 (知)
- 利他** ～ 思いやりをもち、協力して、他者や社会のためにつくす生徒 (徳)
- 健康** ～ 命を大切にし、心身ともに健康で体力を高める生徒 (体)
- 努力** ～ 何事にも真剣に取り組む生徒 (態度)

【目指す学校像】

- 生徒が夢や希望、志をもち、その達成に向けて努力している学校
- 生徒一人一人の学力を伸ばす学校 ～アンダーアチーバー10%未満～

<生徒の実態>

- よさ** ○ 素直で何事にも一生懸命取り組む。
- 友達思いで優しい。
- 真面目でルールを守ろうとする。
- 課題** ○ 自分の考えをもち表現すること。
- 高い目標に向かって努力すること。
- 自主性
- 集団として高め合うこと。

<醸芳中学校の課題に向き合う教師像>

- 絶えず研究と修養に努める教師
 - 授業改善に努める教師
 - 部活動に熱心な教師
 - 師弟同行
- より良きモデルとなるよう努める教師

今年度の重点事項

自立（知）～ 学ぶことをとおして自分の人生を切り拓く

- 生徒が互いに高め合う授業をします
 - ・ 問題解決型の授業の構想、実践
 - ・ 『なびタイム』（まとめ・振り返りの時間）の充実
 - ・ 「人とつながる 社会とつながる 未来とつながる」 I C T機器の活用
- 学力を定着・向上させます
 - ・ 学習の5つの約束の徹底
 - ・ わかるまで教え、できるまで支える学習指導
 - ※ 繰り返しの学習の充実と基礎力テストの実施
 - ・ 個に応じた家庭学習の習慣化の指導（5つのステップ）
- 読書活動を充実させます
 - ・ 朝の読書の充実
 - ・ 読書習慣強化週間の取組
- 志の教育を系統的計画的に進めます
 - ・ 「職業人に学ぶ」「職場体験」「高校調べ」や入学式、立志式、卒業式等の学校行事の充実
 - ・ 総合学習や学級活動を中心とした生き方を考える教育の充実

利他（徳）～自分を見つめ他を思いやり行動する

- 規範意識を高め、自主性を育みます
 - ・ T P Oに応じた行動の指導の充実
 - ・ 朝自習、落ち着いた給食、無言清掃、あいさつの奨励
 - ・ より良い醸芳中学校を目指す生徒会活動の活性化
- いじめ、不登校に丁寧に対応します
 - ・ 人間としての生き方について考えを深める道德の授業の充実
 - ・ Q Uテストの意図的な効果的な活用
 - ・ いじめの早期発見、早期対応
 - ・ 組織をあげた不登校への対応
 - ・ 家庭と協働した生徒の自己肯定感を高める働きかけ
- 心の悩みの解決に努めます
 - ・ アンケート調査や教育相談による悩みや問題の早期発見・早期対応
 - ・ スクールカウンセラーによる面談の実施
- 地域との交流を深めます
 - ・ サマーショートボランティア、地域清掃活動への積極的な取組
 - ・ 郷土の歴史を学ぶ学習の充実

健康（体）～命を大切にし健康を増進し体力を高める

- 健やかな体づくりと体力向上を図ります
 - ・ 目標を明確にした保健体育の授業など体力向上の取組
 - ・ 部活動の充実
 - ・ 校内駅伝競走大会の実施
 - ・ 確実な保健検査の実施
 - ・ むし歯の治療、肥満の解消への取組
- 健全な生活習慣を形成します
 - ・ 学校給食を活用した食育の推進
 - ・ 「保健だより」「生活習慣改善に向けた授業」などによる健全な生活習慣の重要性の啓発
 - ・ 「生活ノート」を利用した生活習慣の個別指導の充実
- 命を守る安全教育を推進します
 - ・ 飛び出しの防止と安全な自転車の乗り方に重点を置いた交通安全教室の実施
 - ・ 防災教育、放射線教育の充実

- 保護者との連携を強化し、協力して生徒の成長を支えます。
 - ・ 保護者参観（授業参観、醸中祭、三者面談等）の充実
 - ・ P T A委員会活動の充実
 - ・ 学校だより、学年だより、保健だよりの定期発行
 - ・ 学校ホームページの更新

令和 3 年度 こおり教育要覧

発行：桑折町教育委員会

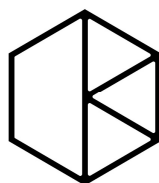
〒969-1692

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下 22 番地 7

TEL 024-582-2403 ・ FAX 024-582-2470

<https://www.town.koori.fukushima.jp>

献上桃の郷®



こおりまち
桑折町